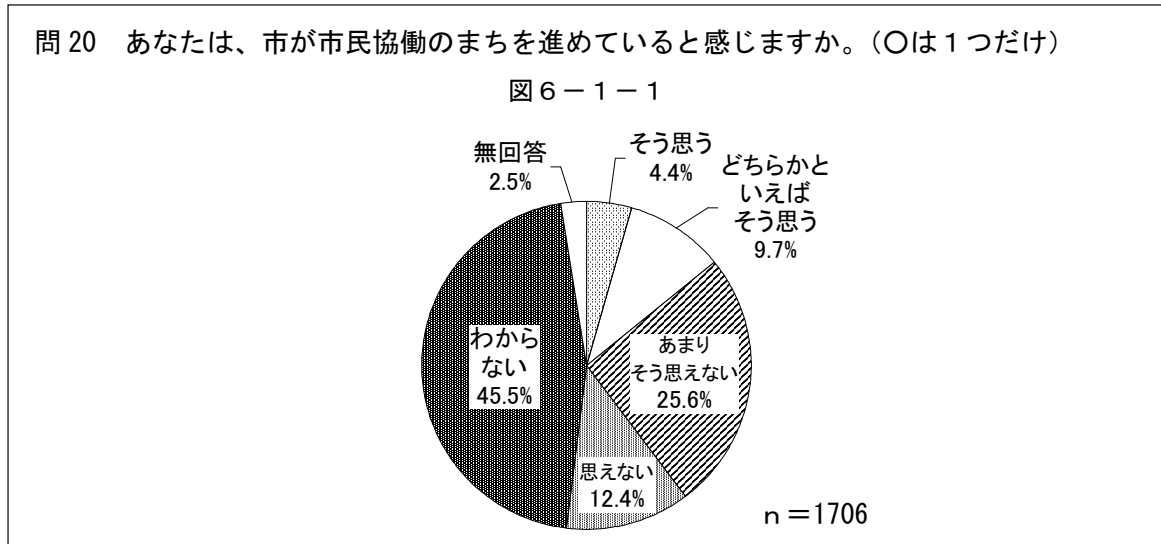


第2章

6. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 市民協働の推進状況

◇『そう思う』が1割半ば、『思えない』が4割近く、「わからない」が4割半ば

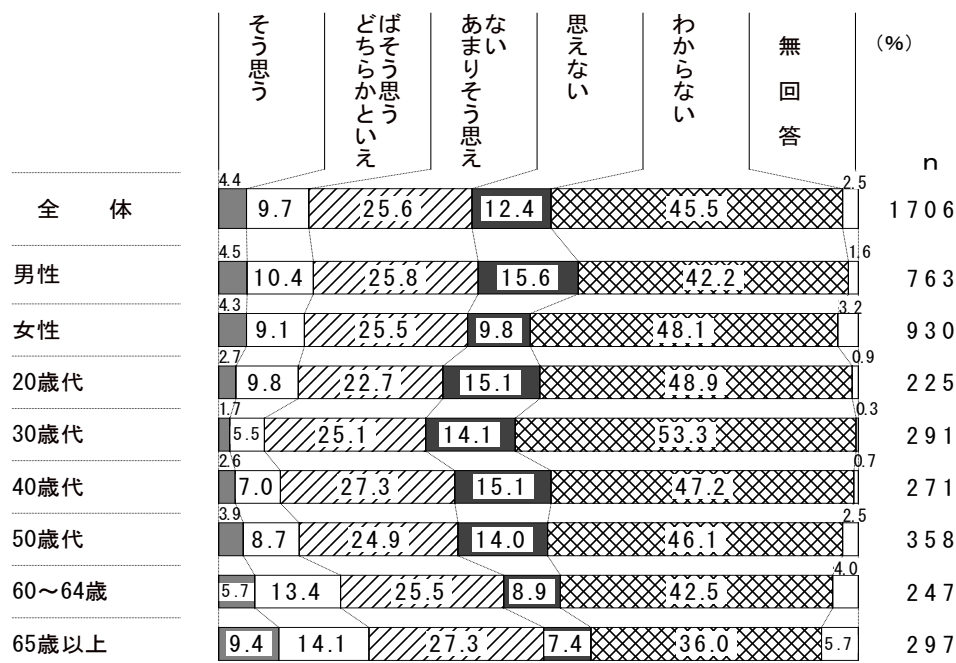


市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうかについて聞いたところ、「そう思う」(4.4%)と「どちらかといえばそう思う」(9.7%)を合わせた『そう思う』(14.1%)が1割半ばで、「あまりそう思えない」(25.6%)と「思えない」(12.4%)を合わせた『思えない』(38.0%)が4割近くとなっている。また、「わからない」(45.5%)が4割半ばとなっている。(図6-1-1)

性別にみると、「思えない」は男性の方が6ポイント高く、「わからない」は女性の方が6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上で2割を超え高くなっている。(図6-1-2)

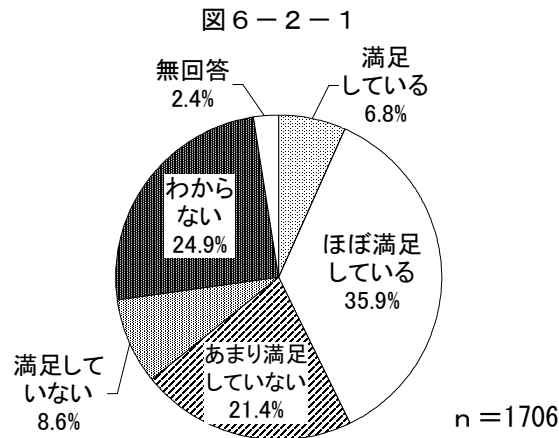
図6-1-2 市民協働の推進状況—性別・年齢別



6-2 現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足している』が4割を超え、『満足していない』が3割

問21 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

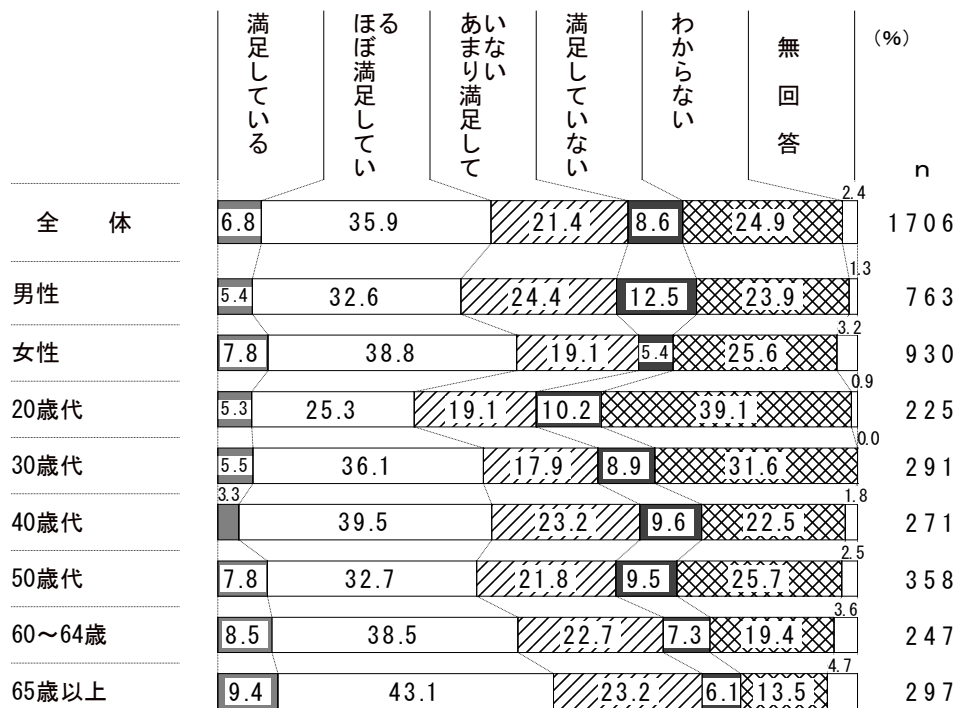


市政情報の入手方法の満足度について聞いたところ、「満足している」(6.8%)と「ほぼ満足している」(35.9%)を合わせた『満足している』(42.7%)は4割を超えている。「満足していない」(8.6%)と「あまり満足していない」(21.4%)を合わせた『満足していない』(30.0%)は3割となっている。また、「わからない」(24.9%)が2割半ばとなっている。(図6-2-1)

性別にみると、『満足している』は女性の方が9ポイント高く、『満足していない』は男性の方が12ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上では5割を超え高くなっている。また、「わからない」では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代ではほぼ4割と高くなっている。(図6-2-2)

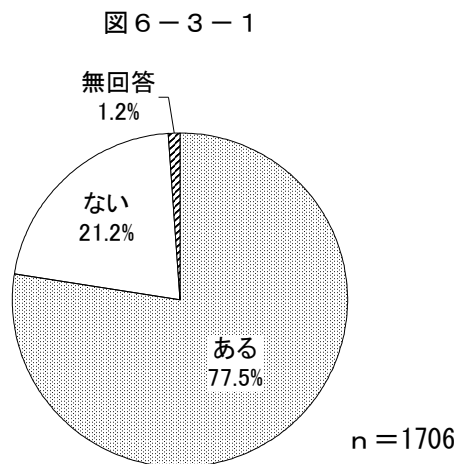
図6-2-2 現在の市政情報入手方法の満足度—性別・年齢別



6-3 市の窓口の利用の有無

◇「ある」が8割近くと、利用率は高い

問22 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)



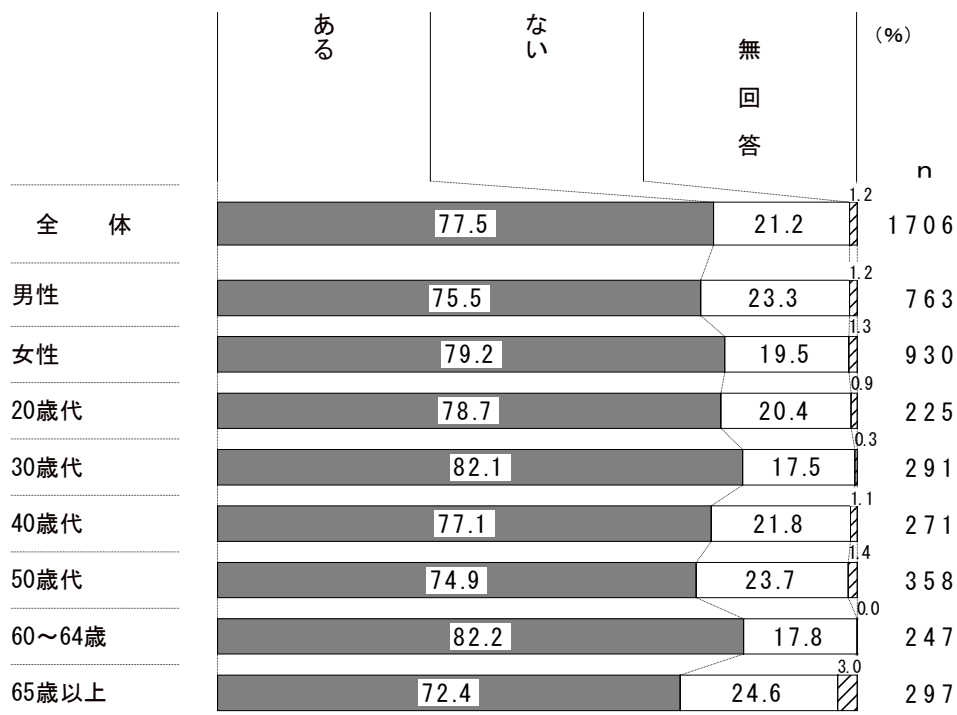
この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなどの市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」(77.5%)が8割近くで、「ない」(21.2%)を大きく上回っている。

(図6-3-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

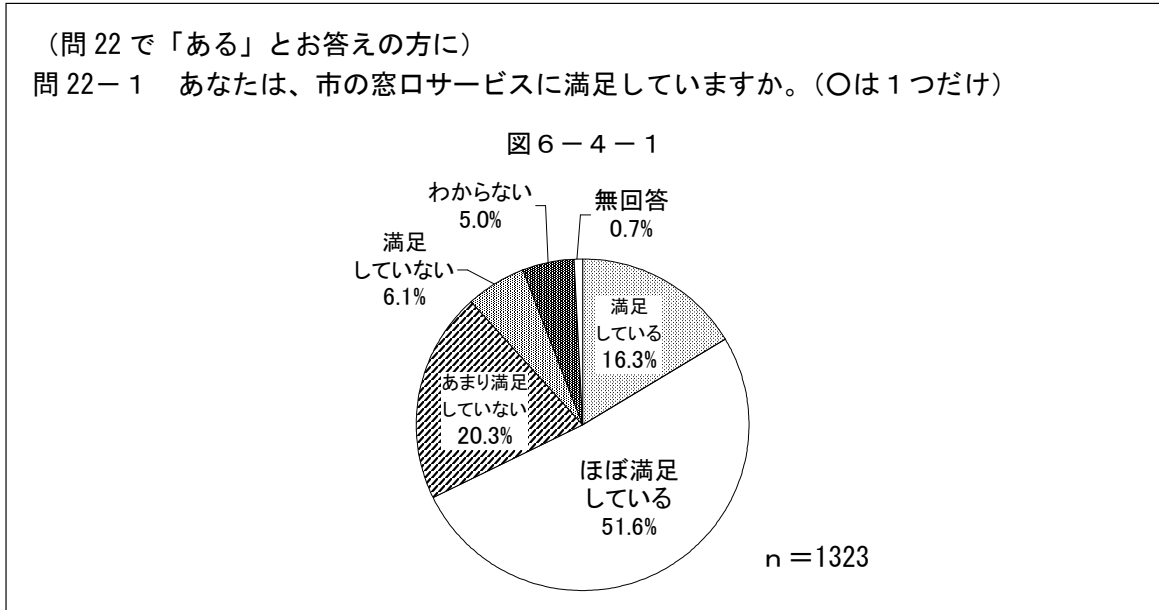
年齢別にみると、「ある」は30歳代と60～64歳で8割を超えている。(図6-3-2)

図6-3-2 市の窓口の利用の有無-性別・年齢別



6-4 市の窓口サービスの満足度

◇『満足している』が7割近く、『満足していない』が2割半ば

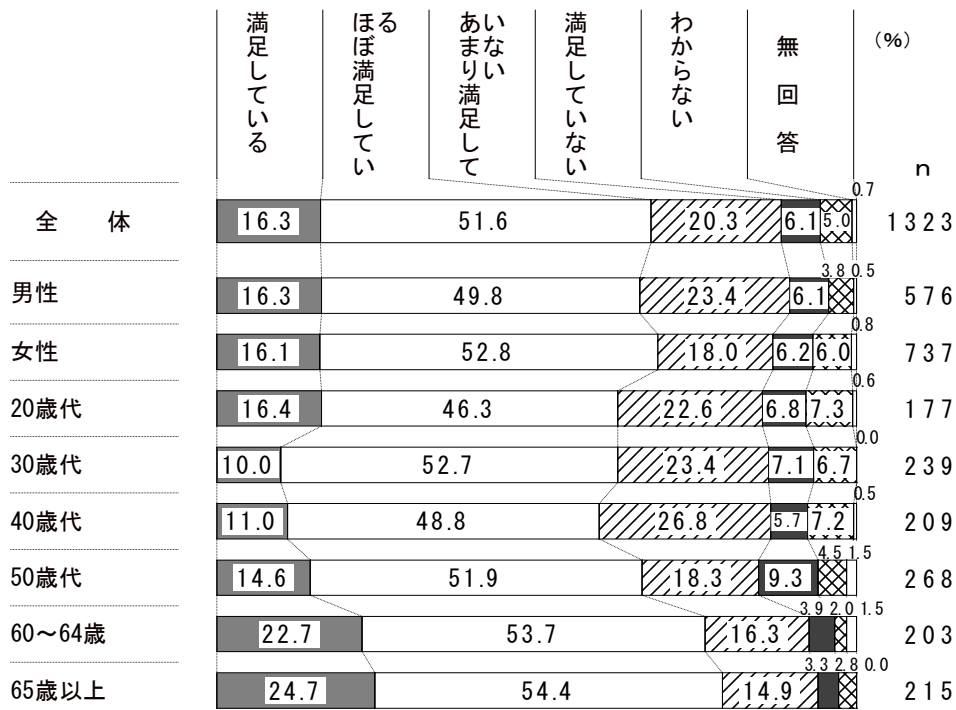


この1年間で市の窓口の利用が「ある」(1,323人)と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「満足している」(16.3%)と「ほぼ満足している」(51.6%)を合わせた『満足している』(67.9%)は7割近くで、「あまり満足していない」(20.3%)と「満足していない」(6.1%)を合わせた『満足していない』(26.4%)は2割半ばとなっている。(図6-4-1)

性別にみると、「あまり満足していない」は男性の方が5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60歳以上の年代で7割以上を占め高くなっている。(図6-4-2)

図6-4-2 市の窓口サービスの満足度—性別・年齢別

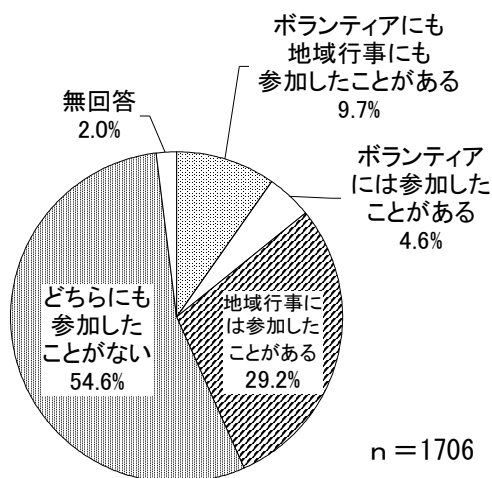


6-5 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割半ば

問23 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

図6-5-1



この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」(29.2%)がほぼ3割、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(9.7%)と「ボランティアには参加したことがある」(4.6%)が1割未満となっており、3項目を合わせた『参加したことがある』(43.5%)が4割を超えている。また、「どちらにも参加したことがない」(54.6%)が5割半ばとなっている。(図6-5-1)

性別にみると、「地域行事には参加したことがある」は女性の方が6ポイント高く、「どちらにも参加したことがない」は男性の方が5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『参加したことがある』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60歳以上の年代で5割を超えて高い。「どちらにも参加したことがない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代で7割を超え高くなっている。(図6-5-2)

居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口(西部地域)と加住・石川(北部地域)で5割近くと高く、「どちらにも参加したことがない」は本庁管内(中央地域)で6割を超え高くなっている。(図6-5-3)

図6-5-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別

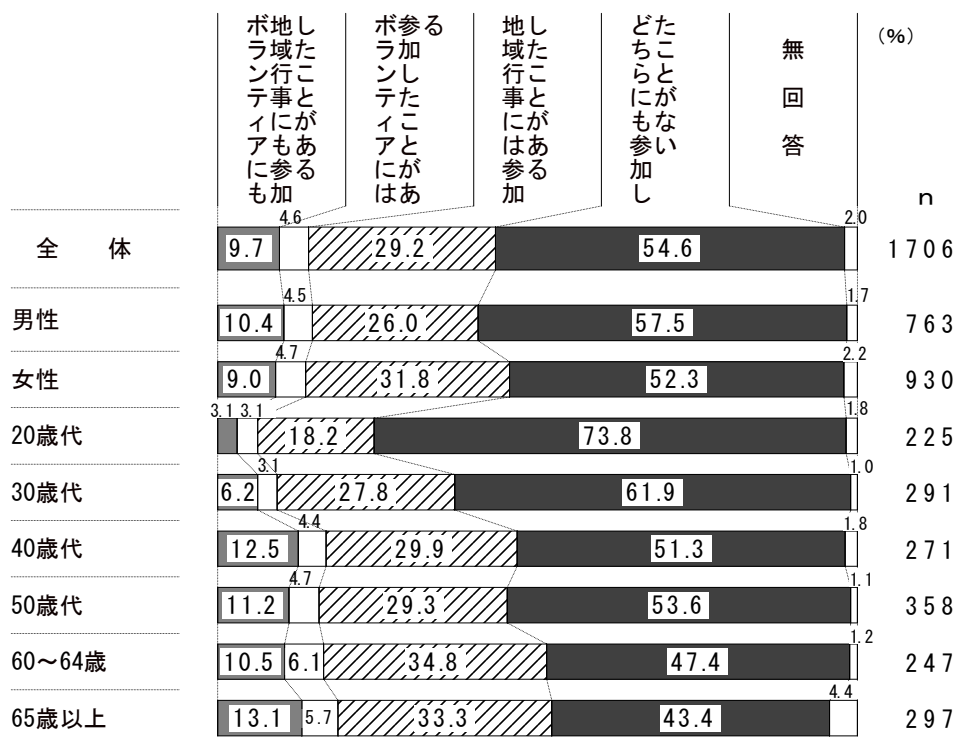
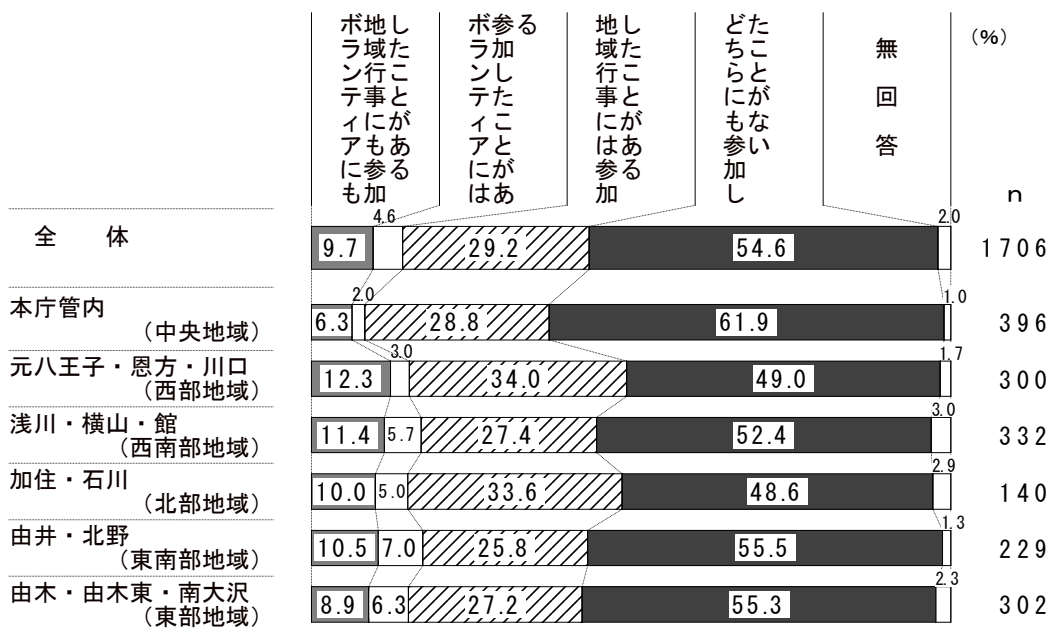
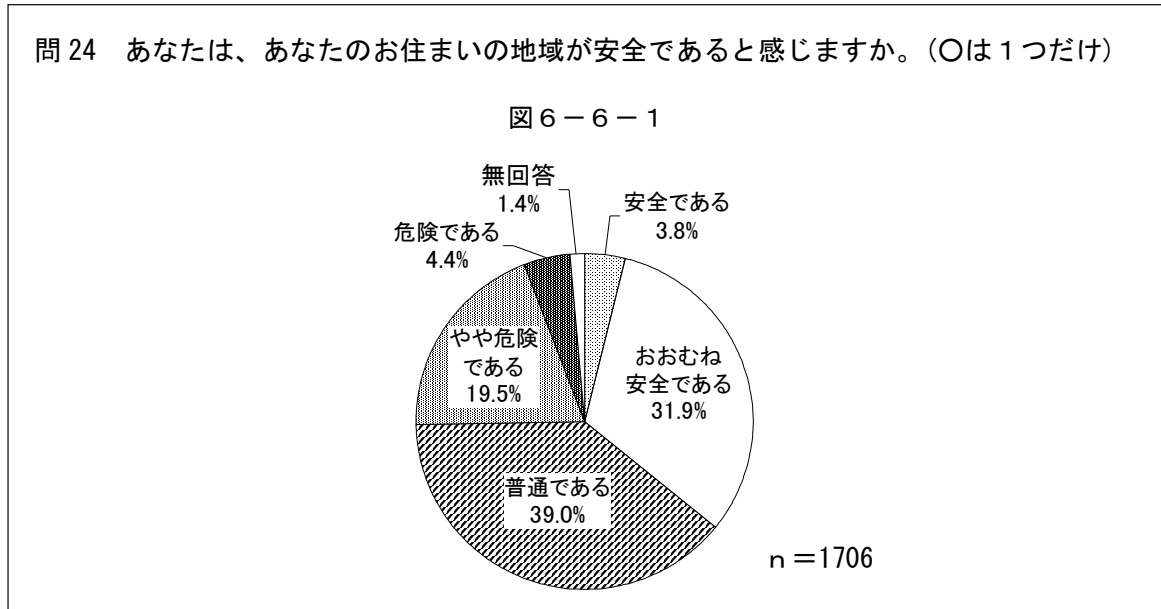


図6-5-3 この1年間の地域行事への参加—居住地域別



6-6 日常生活環境の安全度

◇『安全である』が3割半ば、「普通である」がほぼ4割、『危険である』が2割を超える



住まいの地域が安全であると感じるかどうかについて聞いたところ、「安全である」(3.8%)と「おむね安全である」(31.9%)を合わせた『安全である』(35.7%)が3割半ば、「普通である」(39.0%)がほぼ4割、「やや危険である」(19.5%)と「危険である」(4.4%)を合わせた『危険である』(23.9%)が2割を超えている。(図6-6-1)

性別にみると、『安全である』は男性の方が5ポイント高く、『危険である』は女性の方が5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『危険である』は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代で3割半ばと高くなっている。(図6-6-2)

居住地域別にみると、『安全である』は浅川・横山・館(西南部地域)と由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割以上と高く、『危険である』は加住・石川(北部地域)で3割半ばと高くなっている。

(図6-6-3)

図6-6-2 日常生活環境の安全度—性別・年齢別

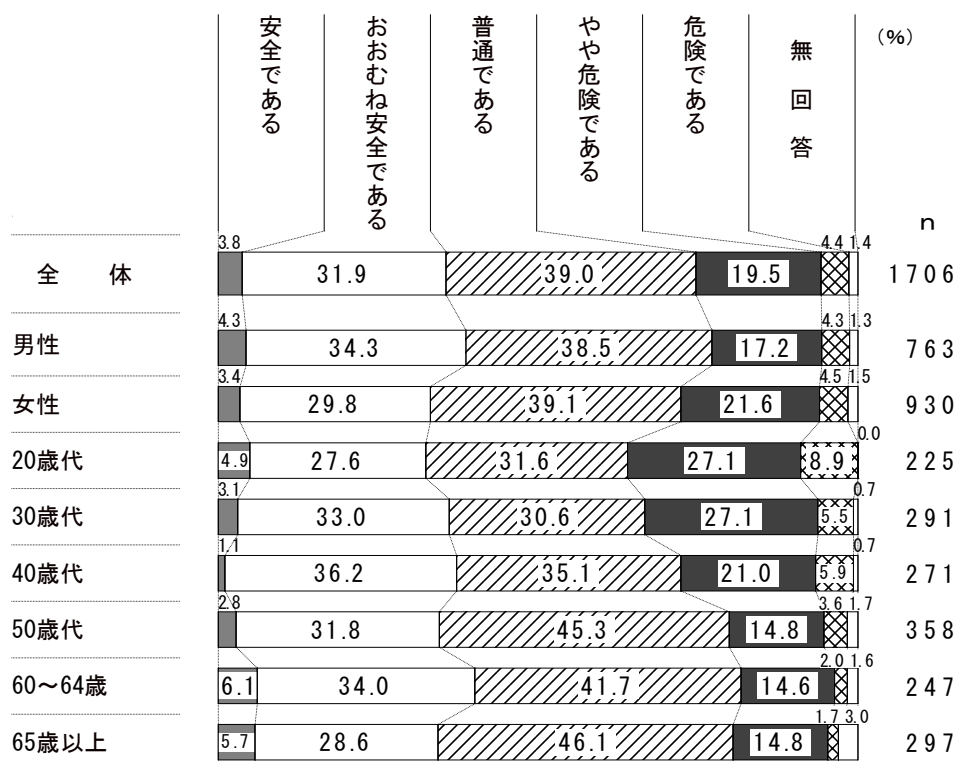
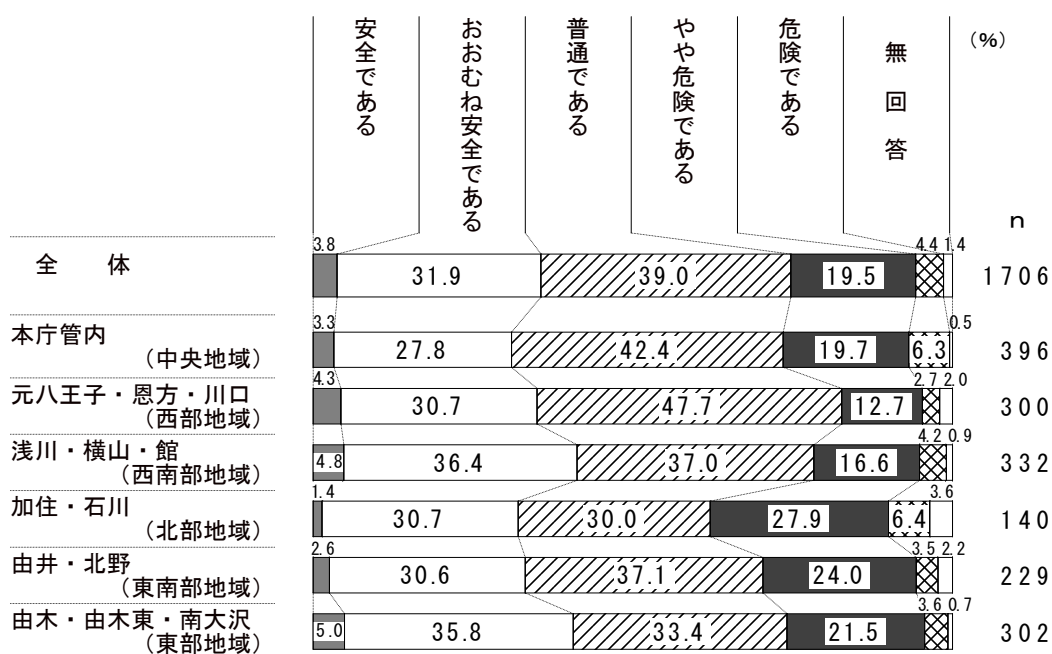


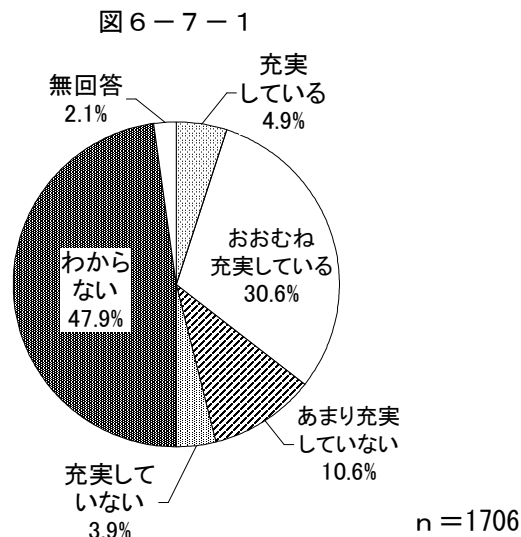
図6-6-3 日常生活環境の安全度—居住地域別



6-7 市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が3割半ば、「わからない」が5割近く

問25 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(〇は1つだけ)

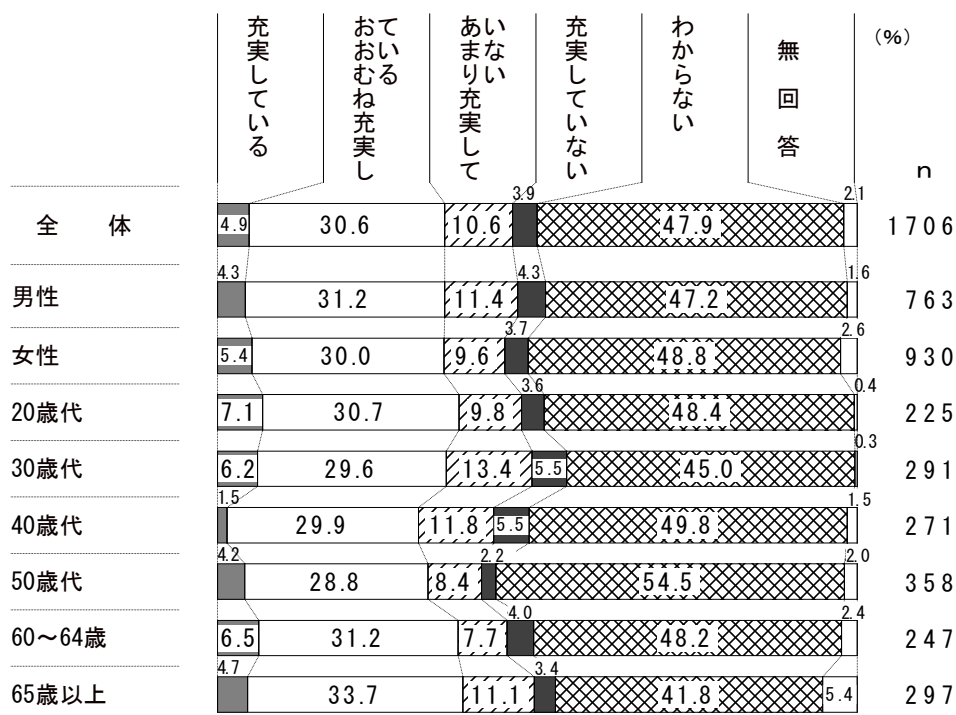


市の相談窓口が充実しているかどうかについて聞いたところ、「充実している」(4.9%)と「おおむね充実している」(30.6%)を合わせた『充実している』(35.5%)が3割半ばで、「あまり充実していない」(10.6%)と「充実していない」(3.9%)を合わせた『充実していない』(14.5%)が1割半ばとなっている。また、「わからない」(47.9%)が5割近くとなっている。(図6-7-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみても、各世代間で大きな差はみられない。(図6-7-2)

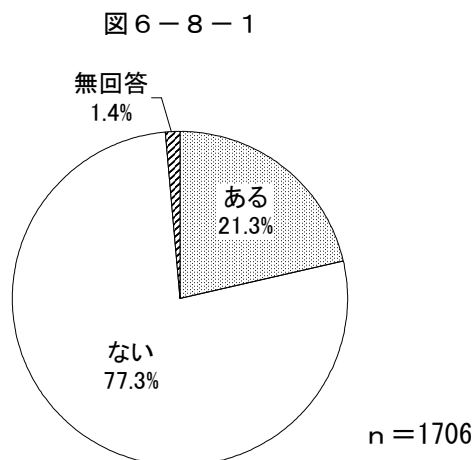
図6-7-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別



6-8 市の相談窓口の利用の有無

◇「ある」が2割を超えるにとどまる

問26 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

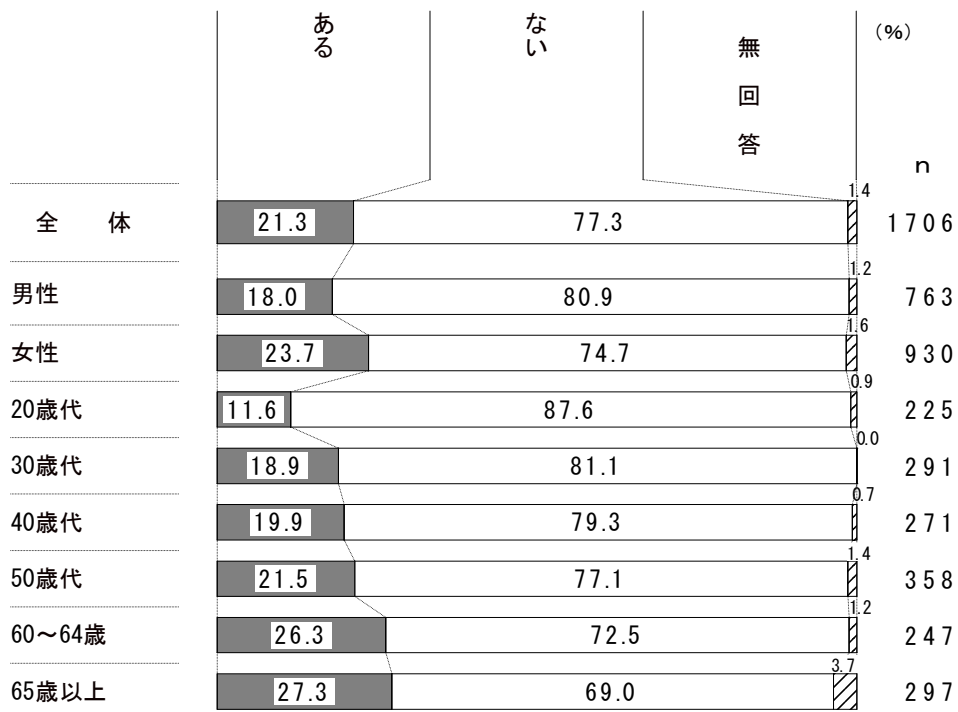


市の相談窓口の利用について聞いたところ、「ある」(21.3%)が2割を超え、「ない」(77.3%)が8割近くとなっている。(図6-8-1)

性別にみると、「ある」は女性の方が6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。「ない」は20歳代で9割近くと高くなっている。(図6-8-2)

図6-8-2 市の相談窓口の利用の有無-性別・年齢別

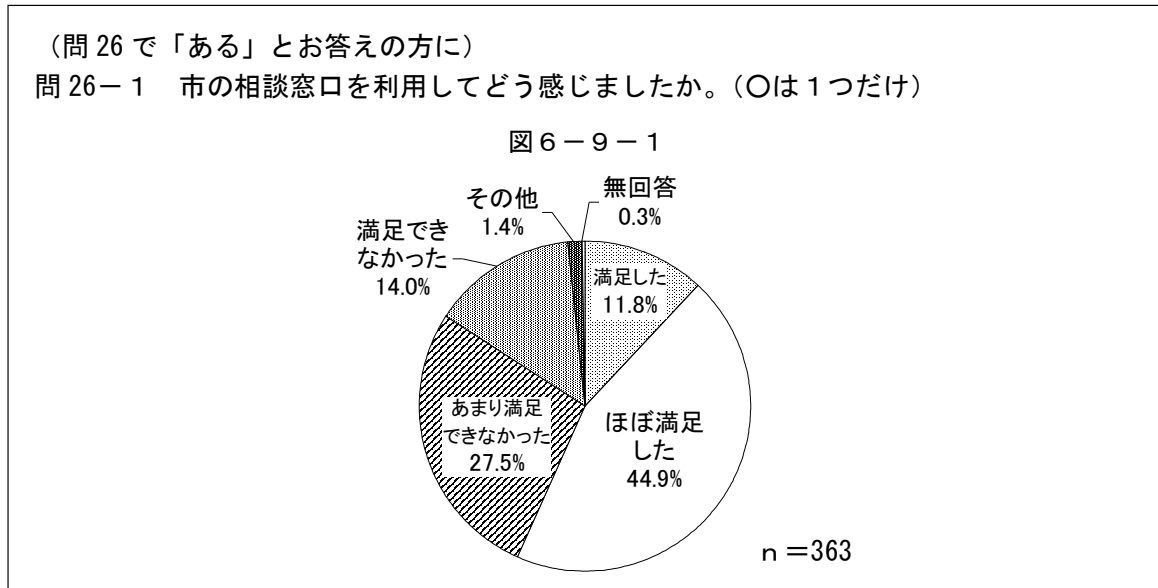


6-9 相談窓口を利用した感想

◇『満足した』が6割近く

(問26で「ある」とお答えの方に)

問26-1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(〇は1つだけ)

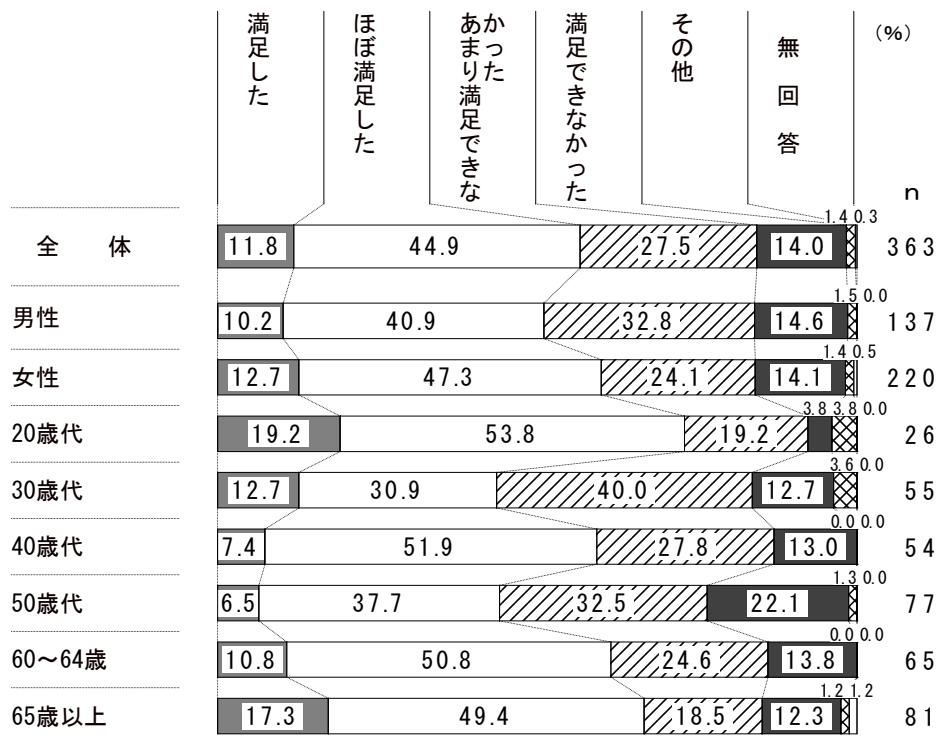


市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(363人)に、市の相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「満足した」(11.8%)と「ほぼ満足した」(44.9%)を合わせた『満足した』(56.7%)が6割近くで、「あまり満足できなかった」(27.5%)と「満足できなかった」(14.0%)を合わせた『満足できなかった』(41.5%)が4割を超えている。(図6-9-1)

性別にみると、「ほぼ満足した」は女性の方が6ポイント高く、『満足した』でも9ポイント高い。「あまり満足できなかった」は男性の方が9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』は20歳代で7割を超え、65歳以上でも7割近くと高く、『満足できなかった』は30歳代と50歳代で5割を超え高くなっている。(図6-9-2)

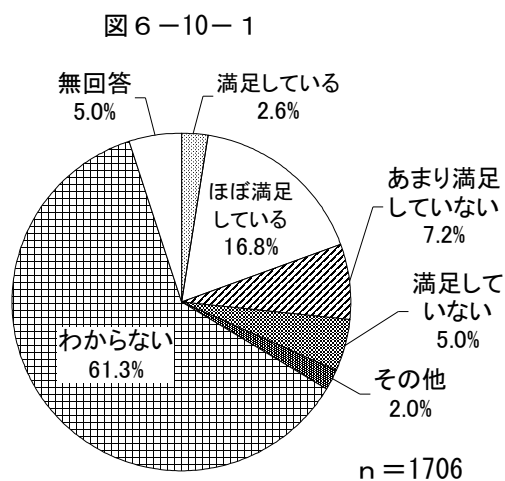
図6-9-2 相談窓口を利用した感想—性別・年齢別



6-10 市の子育て支援策の満足度

◇『満足している』が2割、『満足していない』が1割を超え、「わからない」が6割を超える

問27 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(○は1つだけ)



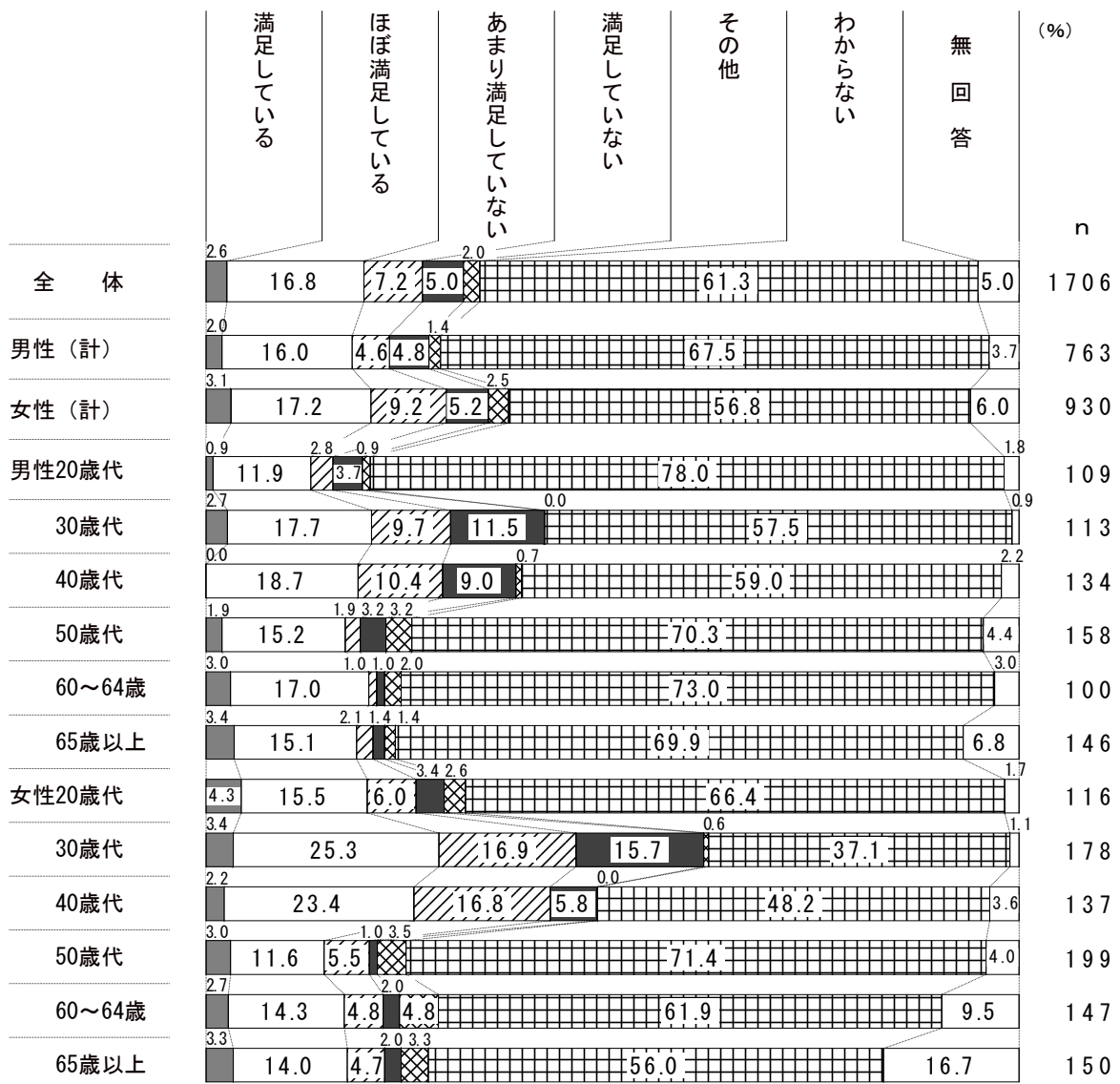
市の子育て支援策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.6%)と「ほぼ満足している」(16.8%)を合わせた『満足している』(19.4%)がほぼ2割で、「あまり満足していない」(7.2%)と「満足していない」(5.0%)を合わせた『満足していない』(12.2%)が1割を超えている。また、「わからない」(61.3%)が6割を超えている。

(図6-10-1)

性別にみると、『満足していない』は女性の方が5ポイント高く、「わからない」は男性の方が11ポイント高くなっている。

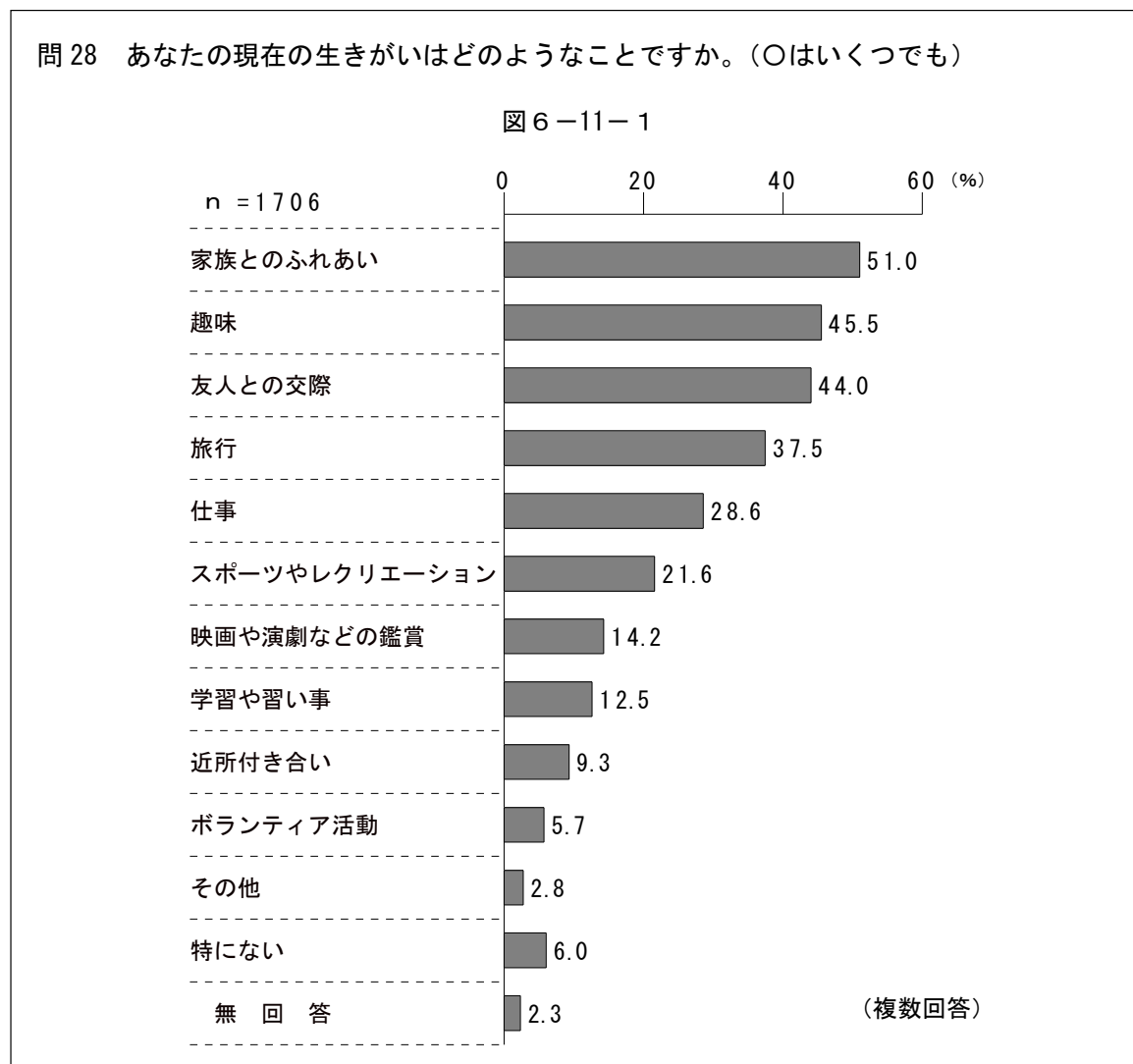
性・年齢別にみると、『満足していない』は女性の30歳代で3割を超え、40歳代でも2割を超え高くなっている。「わからない」は男性の20歳代、50歳代、60～64歳と女性の50歳代で7割以上と高くなっている。(図6-10-2)

図6-10-2 市の子育て支援策の満足度—性・年齢別



6-11 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が半数を超える

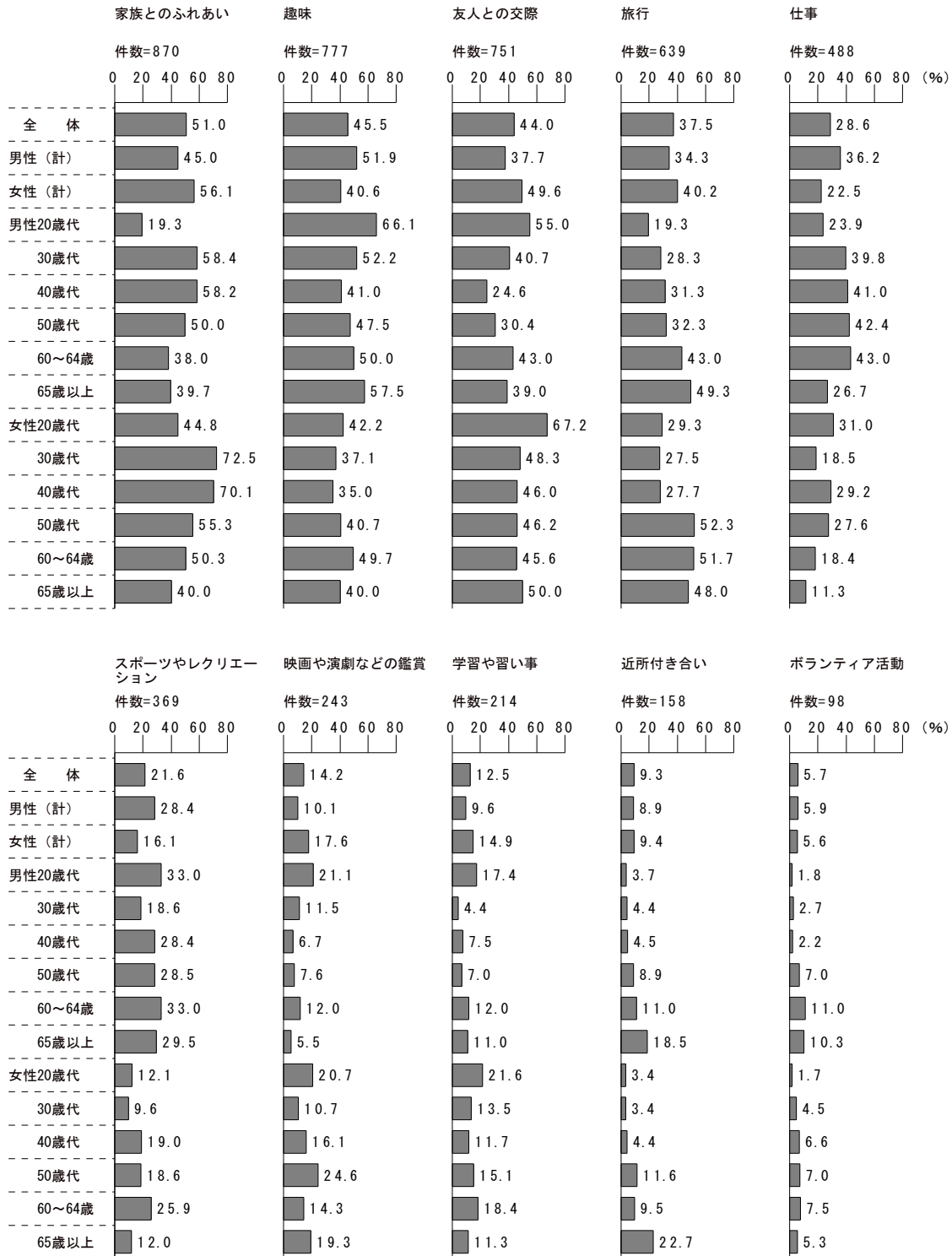


現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」(51.0%)がほぼ5割と最も高く、次いで「趣味」(45.5%)、「友人との交際」(44.0%)、「旅行」(37.5%)、「仕事」(28.6%)などの順となっている。(図6-11-1)

上位10項目を性別にみると、女性の方が「友人との交際」は12ポイント、「家族とのふれあい」は11ポイント、「映画や演劇などの鑑賞」は8ポイント、「旅行」は6ポイント、「学習や習い事」は5ポイント高い。一方、男性の方が「仕事」は14ポイント、「スポーツやレクリエーション」は12ポイント、「趣味」は11ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は女性の30歳代と40歳代で7割を占め高く、「趣味」は男性の20歳代で6割半ばと高い。「友人との交際」は女性の20歳代で7割近くと高く、「旅行」は男性の65歳以上と女性の50歳以上の年代で5割前後と高い。「仕事」は男性の30歳代から60歳～64歳の年代で4割前後と高く、「スポーツやレクリエーション」は男性の20歳代と60歳～64歳で3割を超え高い。「近所付き合い」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上で2割前後と高くなっている。(図6-11-2)

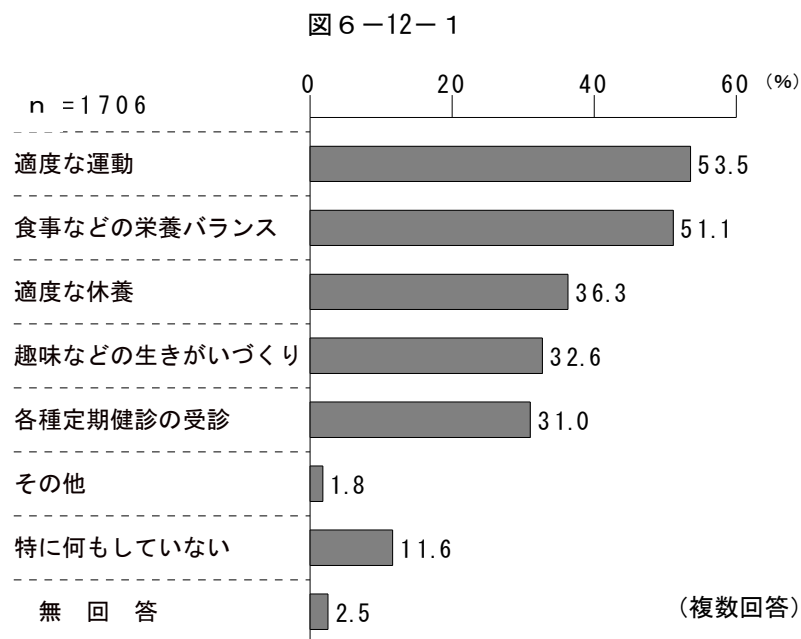
図6-11-2 現在の生きがい—性・年齢別（上位10項目）



6-12 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」と「食事などの栄養バランス」が半数を超えている

問 29 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

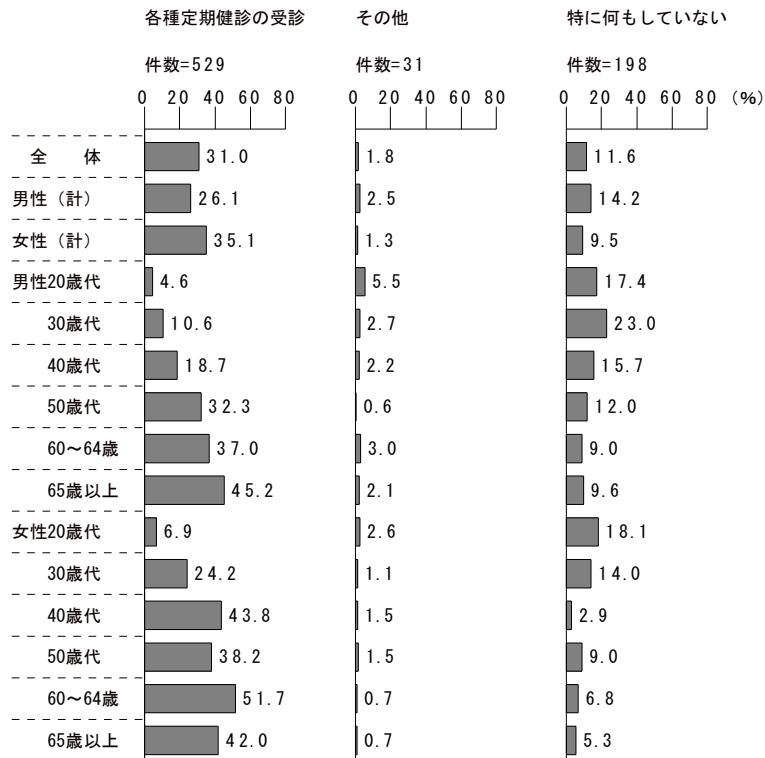
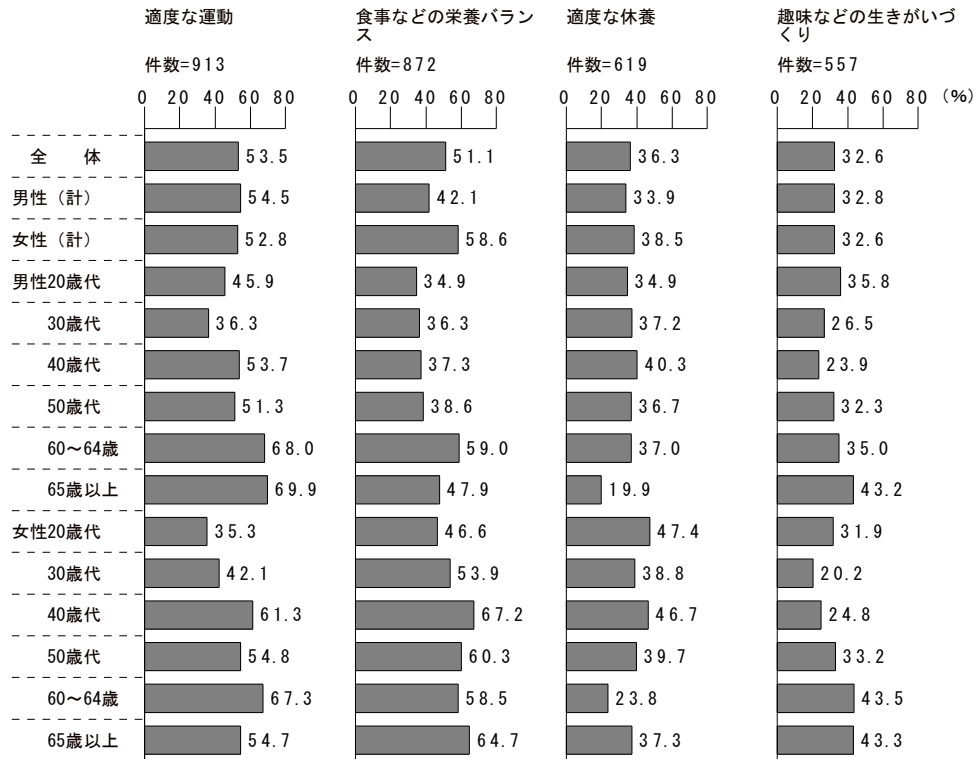


健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」(53.5%)が5割を超え最も高く、次いで「食事などの栄養バランス」(51.1%)、「適度な休養」(36.3%)、「趣味などの生きがいがづくり」(32.6%)、「各種定期検診の受診」(31.0%)の順となっている。(図 6-12-1)

性別にみると、「食事などの栄養バランス」は17ポイント、「各種定期検診の受診」は9ポイント、それぞれ女性の方が高く、「特に何もしていない」は男性の方が5ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「適度な運動」は男性の60歳以上の年代と女性の60歳～64歳で7割近くと高く、「食事などの栄養バランス」は女性の40歳代と65歳以上で6割半ばと高い。「適度な休養」は女性の20歳代と40歳代で4割半ばと高く、「趣味などの生きがいがづくり」は男性の65歳以上と女性の60歳以上の年代で4割を超え高くなっている。「各種定期検診の受診」は男性では高い年代ほど割合が高い傾向にあり、また女性の60歳～64歳で5割を超え高い。「特に何もしていない」は男性の30歳代で2割を超え高くなっている。(図 6-12-2)

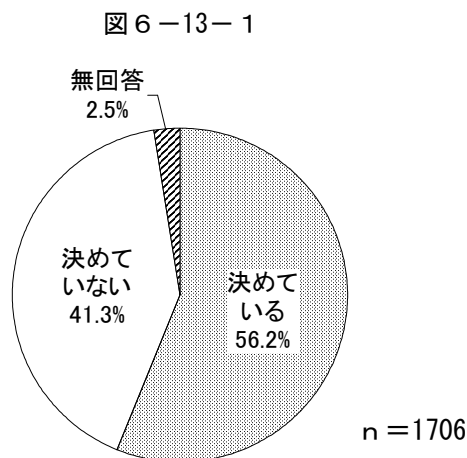
図6-12-2 健康のために心がけていること一性・年齢別



6-13 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」が過半数を占める

問30 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

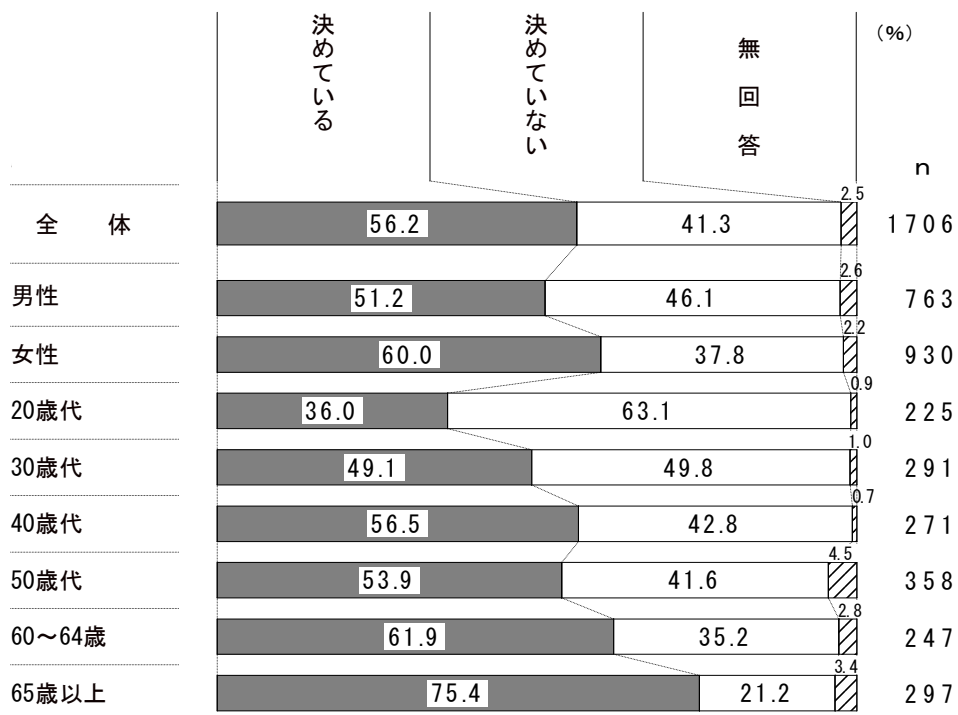


かかりつけの医療機関を決めているかについて聞いたところ、「決めている」(56.2%)が5割半ば、「決めていない」(41.3%)が4割を超えている。(図6-13-1)

性別にみると、「決めている」は女性の方が9ポイント高くなっている。

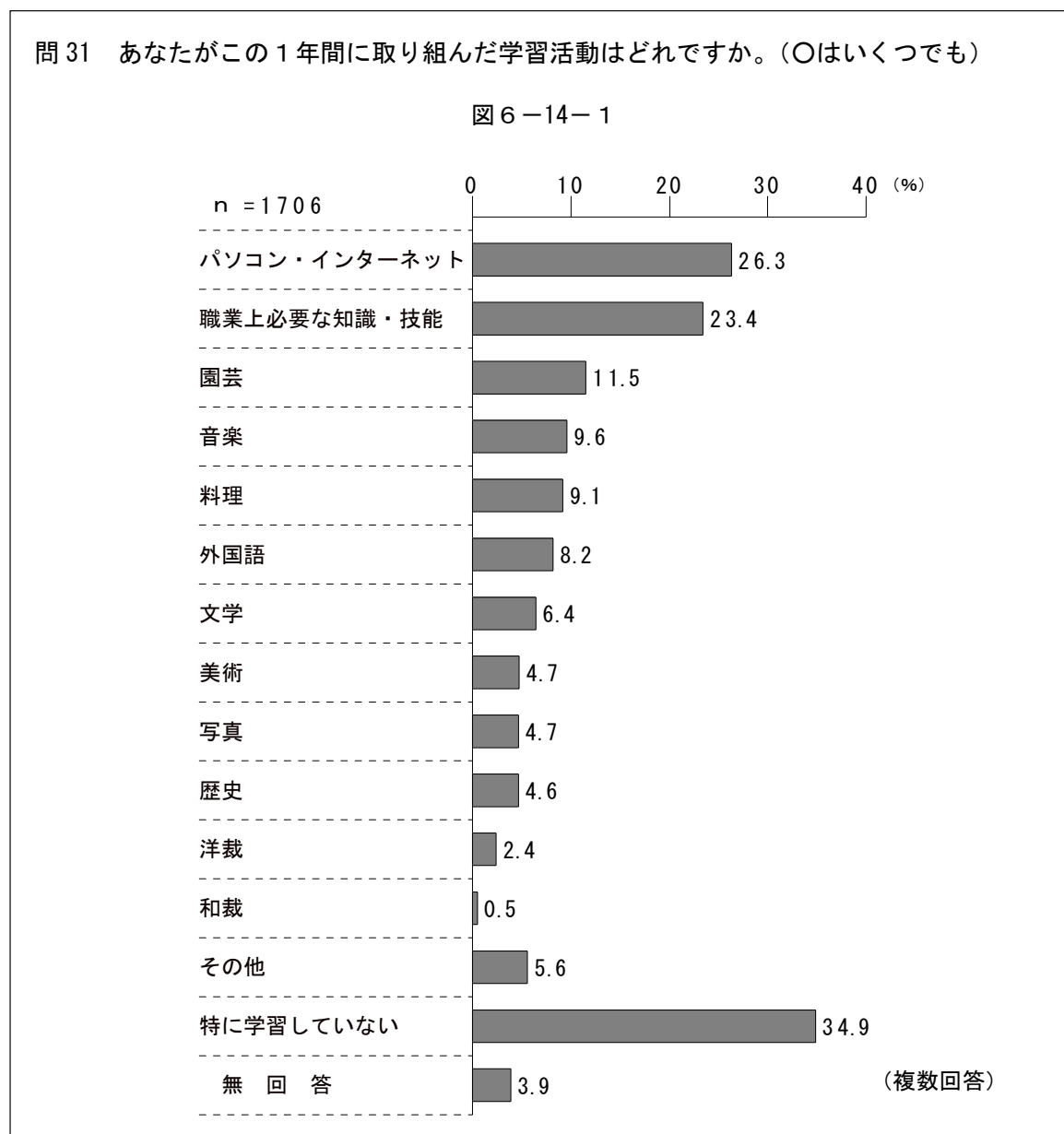
年齢別にみると、「決めている」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上で7割半ばと高くなっている。(図6-13-2)

図6-13-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



6-14 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「パソコン・インターネット」が2割半ば、「職業上必要な知識・技能」が2割を超える



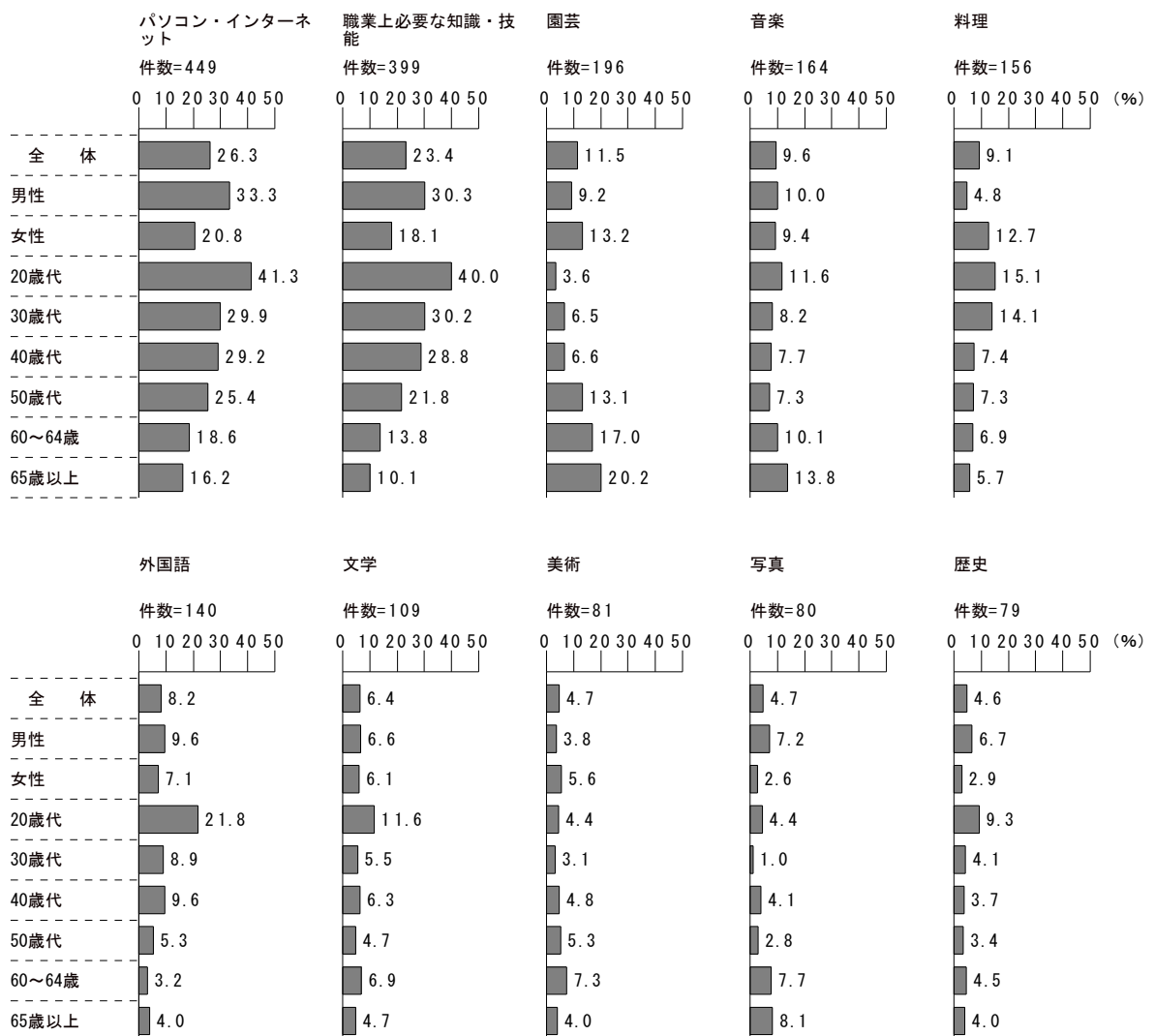
この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「パソコン・インターネット」(26.3%)が2割半ばと最も高く、次いで「職業上必要な知識・技能」(23.4%)、「園芸」(11.5%)、「音楽」(9.6%)、「料理」(9.1%)などの順となっている。また、「特に学習していない」(34.9%)が3割半ばと高くなっている。(図6-14-1)

上位10項目を性別にみると、「パソコン・インターネット」と「職業上必要な知識・技能」で12ポイント、「写真」で5ポイント、それぞれ男性の方が高く、「料理」は女性の方が8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「パソコン・インターネット」、「職業上必要な知識・技能」、「料理」、「外国語」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、「パソコン・インターネット」と「職業上必要な知識・技能」は20歳代で4割以上、「外国語」は2割を超え高い。「園芸」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(図6-14-2)

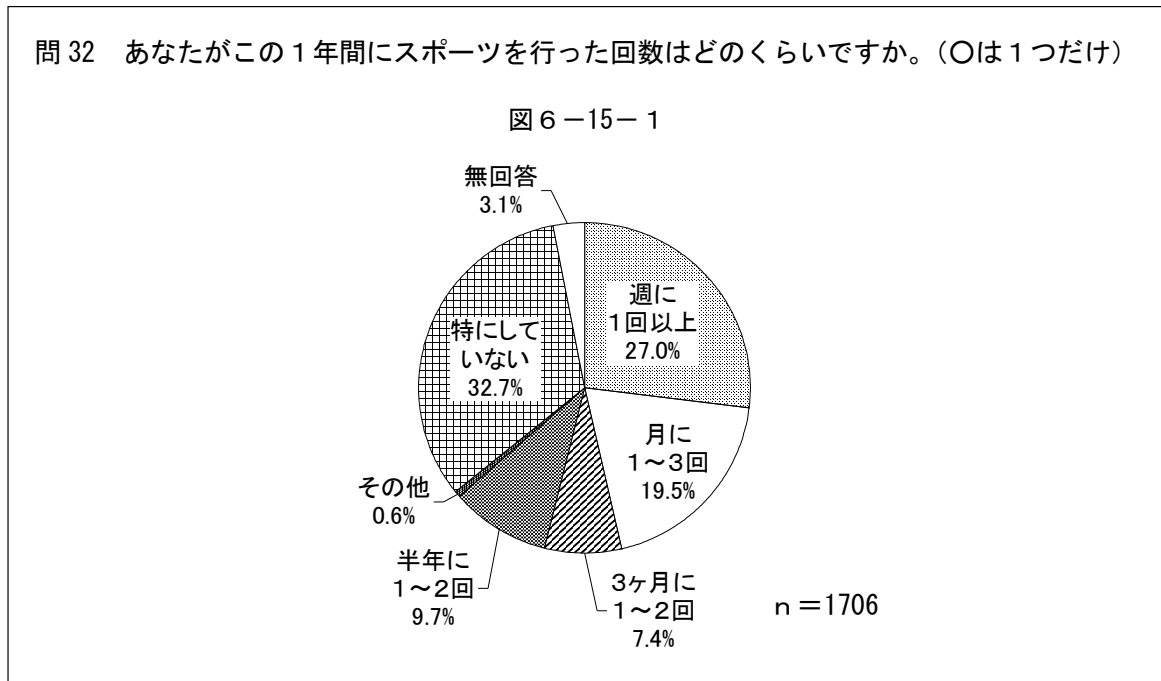
図6-14-2 この1年間に取り組んだ学習活動—性別・年齢別（上位10項目）



6-15 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に1回以上」が3割近く、「特にしていない」は3割を超える

問32 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数ほどのくらいですか。(○は1つだけ)



この1年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に1回以上」(27.0%)が3割近く、「月に1~3回」(19.5%)が2割、「3ヶ月に1~2回」(7.4%)、「半年に1~2回」(9.7%)が1割未満となっている。また、「特にしていない」(32.7%)が3割を超えている。(図6-15-1)

性別にみると、「月に1~3回」は男性の方が5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週に1回以上」は60~64歳で4割近くと高く、「月に1~3回」は20歳代で3割と高くなっている。(図6-15-2)

居住地域別にみると、地域による大きな差はみられない。(図6-15-3)

図6-15-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別

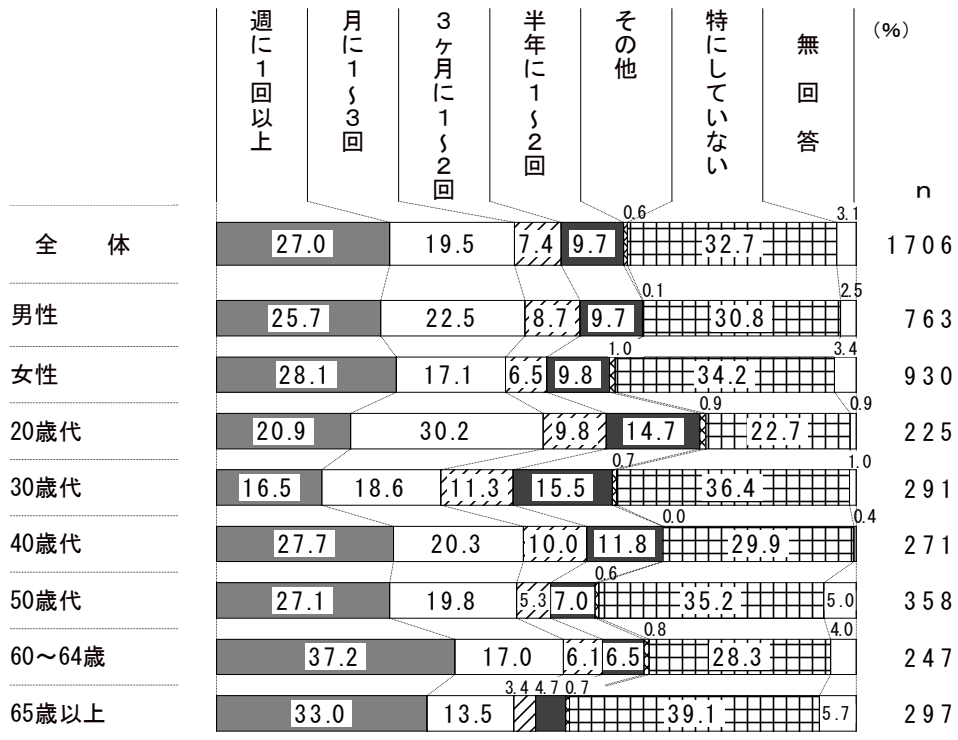
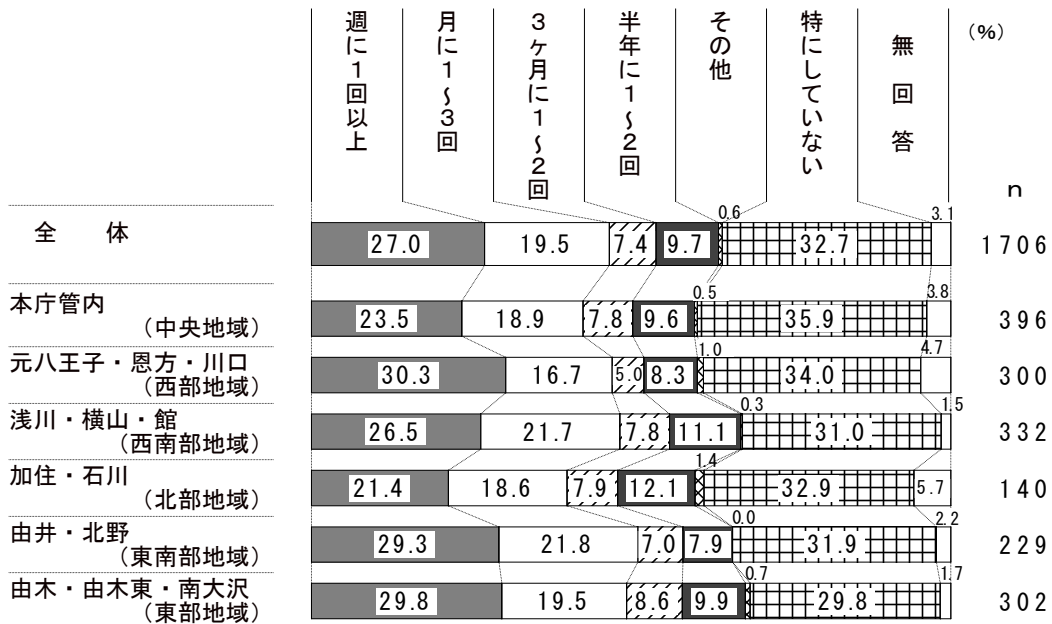


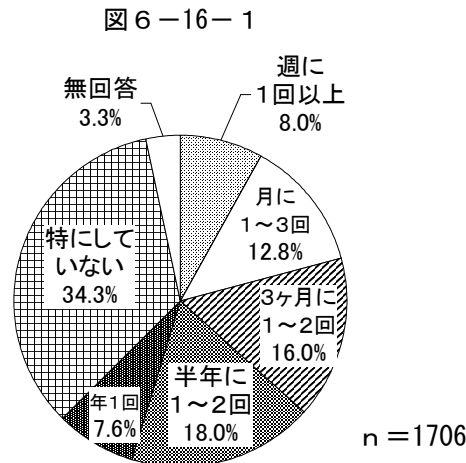
図6-15-3 この1年間に行ったスポーツの頻度－居住地域別



6-16 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「半年に1～2回」と「3ヶ月に1～2回」が2割近く

問33 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。
(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

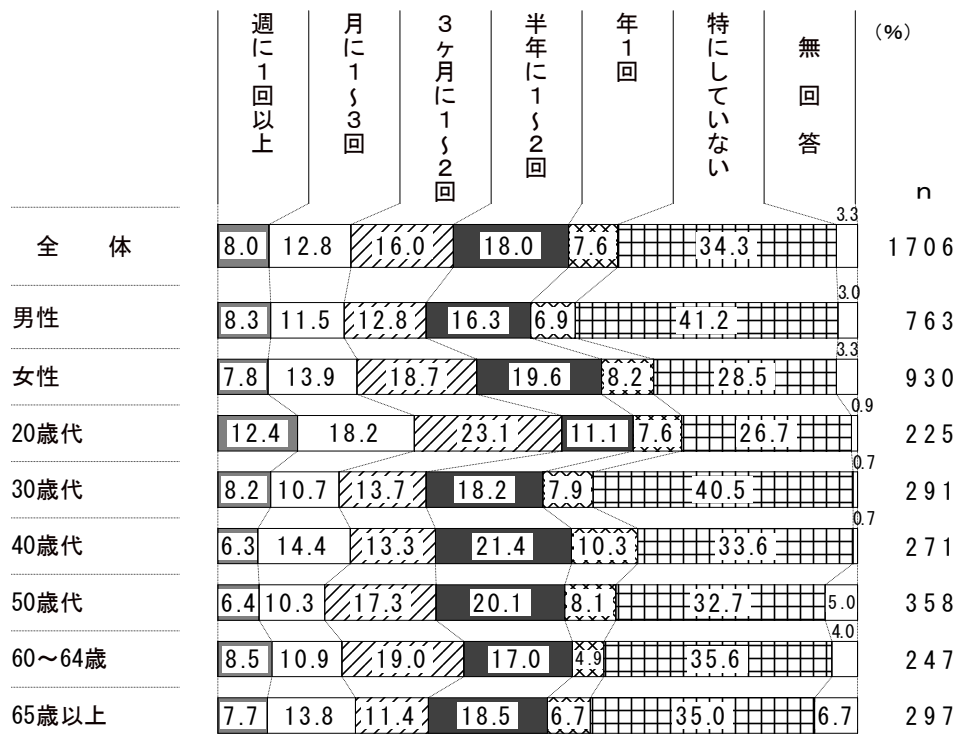


この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」(8.0%)が1割未満、「月に1～3回」(12.8%)が1割を超え、「3ヶ月に1～2回」(16.0%)が1割半ば、「半年に1～2回」(18.0%)が2割近く、「年1回」(7.6%)が1割未満となっている。また、「特にしていない」(34.3%)が3割半ばとなっている。(図6-16-1)

性別にみると、「3ヶ月に1～2回」は女性の方が6ポイント高く、「特にしていない」は男性の方が13ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢による顕著な傾向はあまり出ていない。(図6-16-2)

図6-16-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度—性別・年齢別

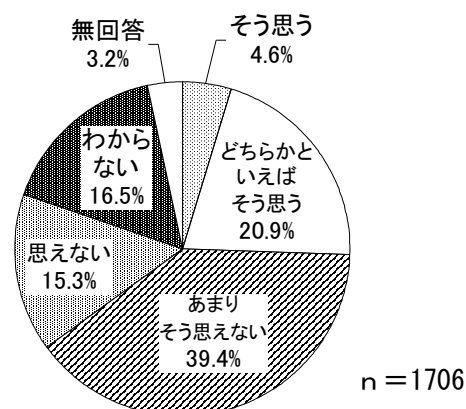


6-17 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割半ばと半数を占める

問34 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-17-1



市が景観に配慮されたまちであると思うかについて聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(20.9%)を合わせた『そう思う』(25.5%)が2割半ばで、「あまりそう思えない」(39.4%)と「思えない」(15.3%)を合わせた『思えない』(54.7%)が5割半ばとなっている。また、「わからない」(16.5%)が2割近くとなっている。(図6-17-1)

性別にみると、「どちらかといえばそう思う」は女性の方が5ポイント高く、「あまりそう思えない」は男性の方が7ポイント高く、「思えない」を合わせた『思えない』でも9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢による顕著な傾向はあまり出ていない。(図6-17-2)

居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割と高くなっている。

(図6-17-3)

図6-17-2 市は景観に配慮されたまちであるか—性別・年齢別

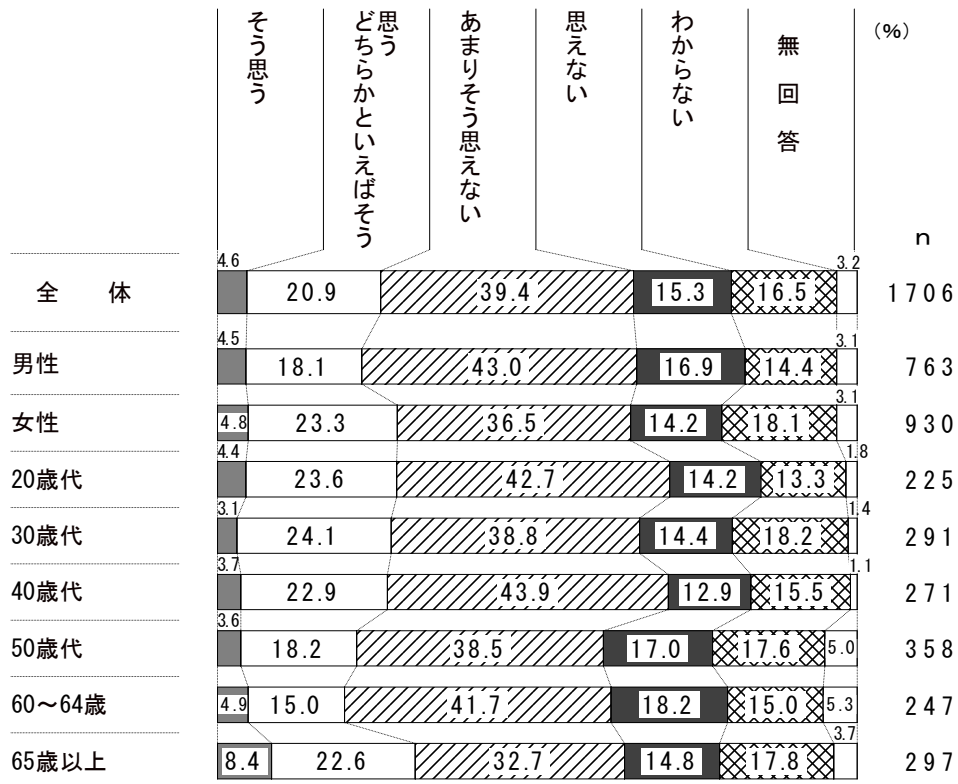
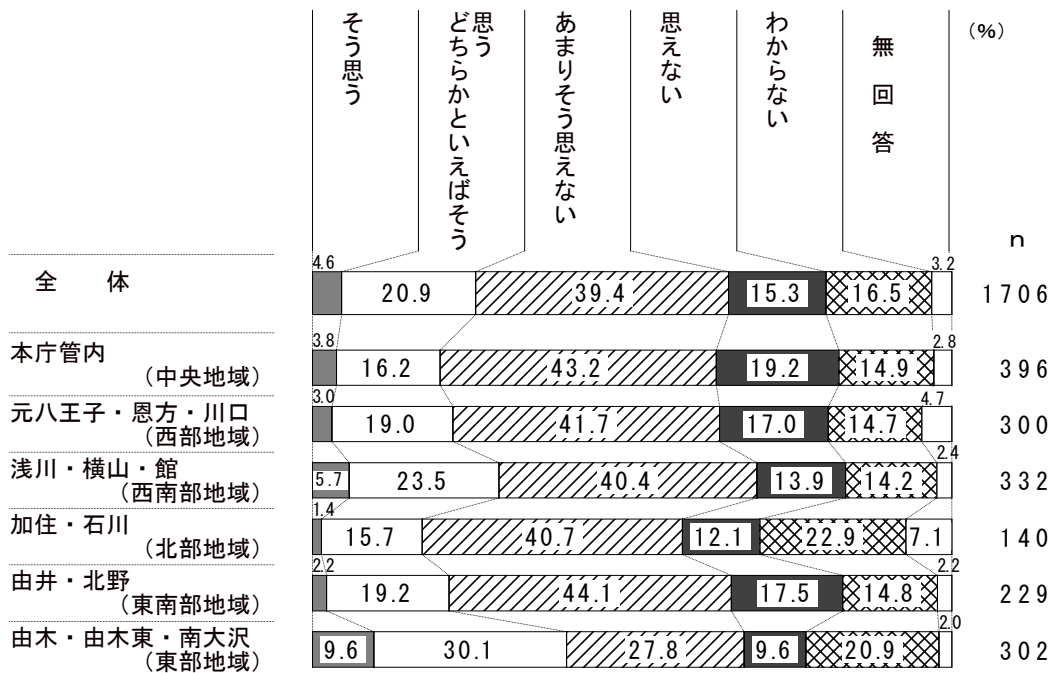


図6-17-3 市は景観に配慮されたまちであるか—居住地域別

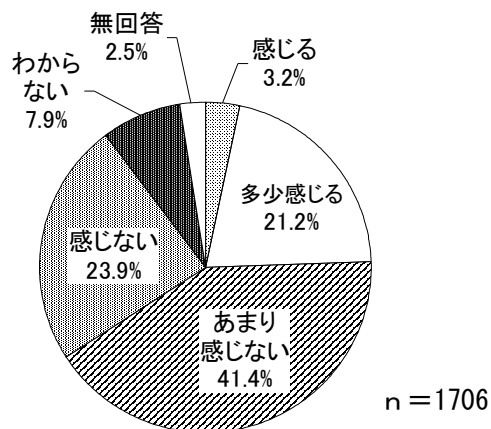


6-18 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割半ば

問 35 あなたは、市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

図 6-18-1



市がにぎわいと活力があるまちであると感じるかについて聞いたところ、「感じる」(3.2%)と「多少感じる」(21.2%)を合わせた『感じる』(24.4%)が2割半ばで、「あまり感じない」(41.4%)と「感じない」(23.9%)を合わせた『感じない』(65.3%)が6割半ばとなっている。(図6-18-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代で3割半ばと高くなっている。(図6-18-2)

居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割近くと高くなっている。

(図6-18-3)

図6-18-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別

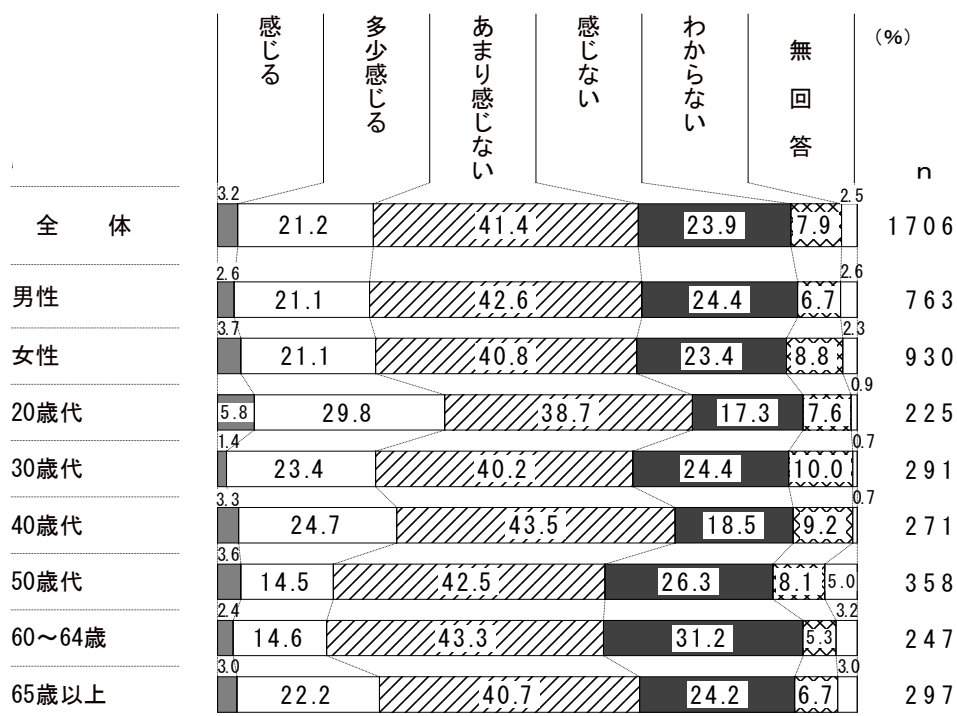
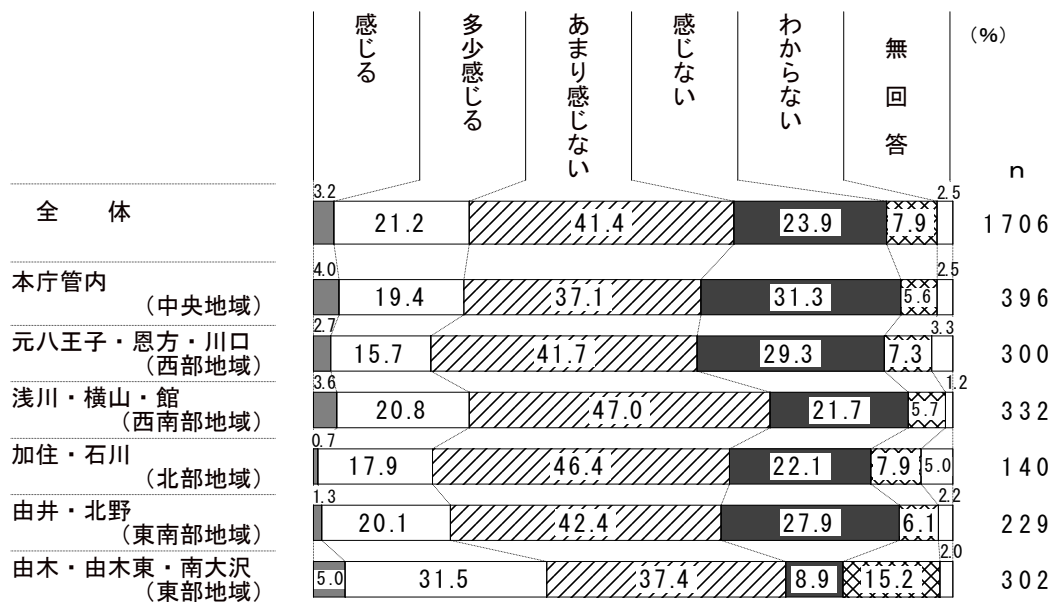


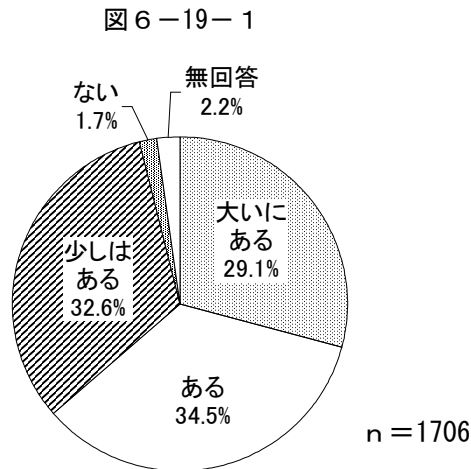
図6-18-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



6-19 環境問題への関心度

◇『ある』が9割を超え、関心度は非常に高い

問36 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

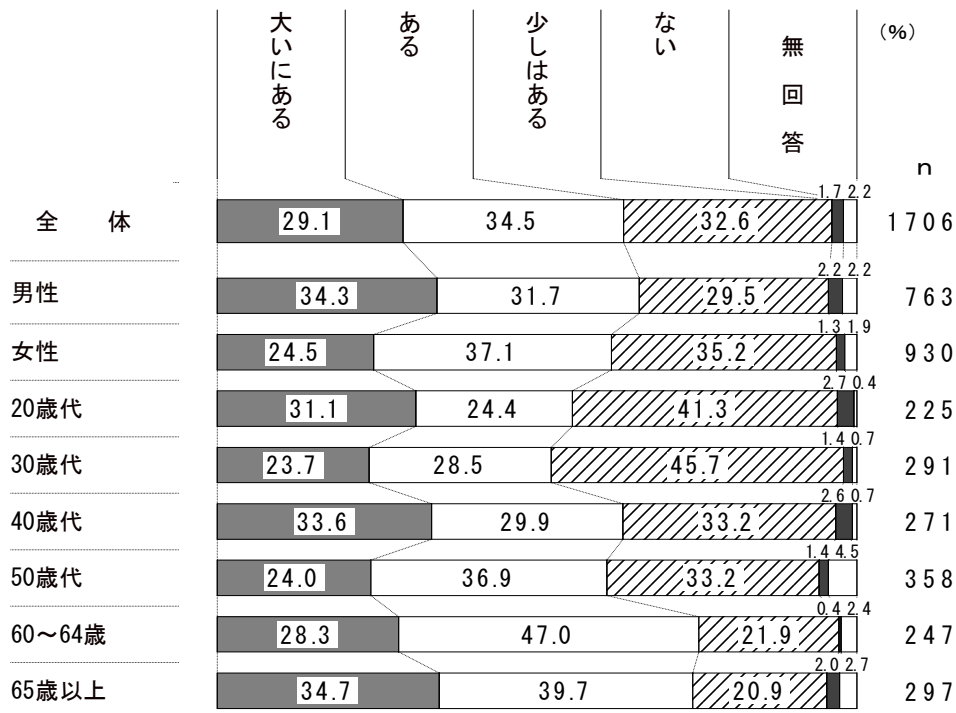


環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」(29.1%)がほぼ3割、「ある」(34.5%)が3割半ば、「少しはある」(32.6%)が3割を超え、3項目を合わせた『ある』(96.2%)が9割半ばと高くなっている。一方、「ない」(1.7%)はわずかである。(図6-19-1)

性別にみると、「大いにある」は男性の方が10ポイント高く、「ある」は5ポイント、「少しはある」は6ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は60歳～64歳で5割近くと高くなっている。(図6-19-2)

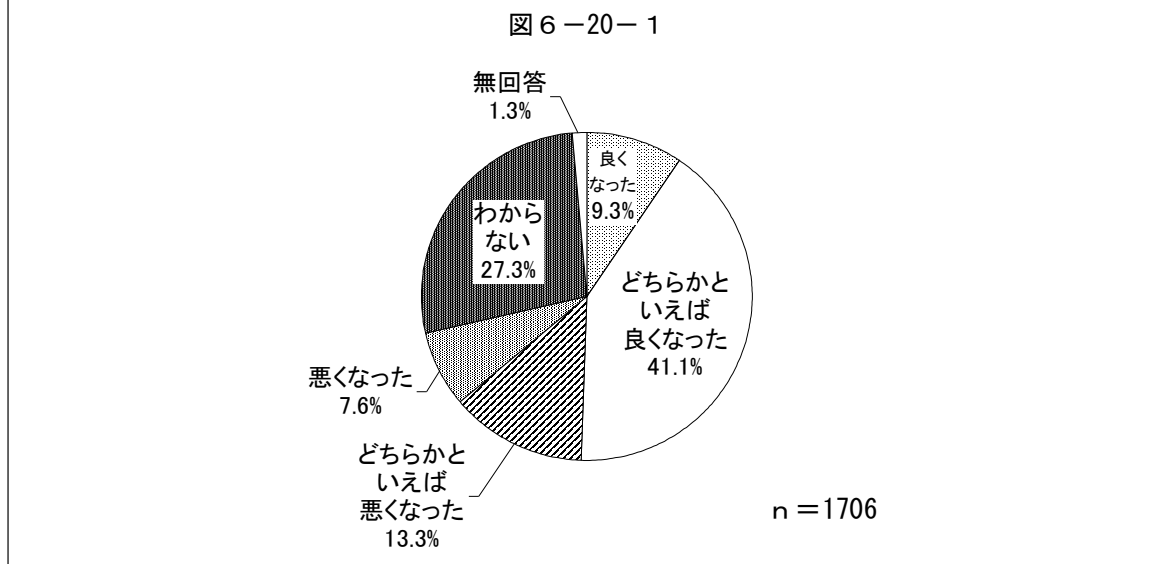
図6-19-2 環境問題への関心度—性別・年齢別



6-20 市の現在の環境

◇『良くなった』が半数を占める

問 37 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）



市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じているか聞いたところ、「良くなった」（9.3%）と「どちらかといえば良くなった」（41.1%）を合わせた『良くなった』（50.4%）が5割で、「どちらかといえば悪くなった」（13.3%）と「悪くなった」（7.6%）を合わせた『悪くなった』（20.9%）がほぼ2割となっている。また、「わからない」（27.3%）が3割近くとなっている。

（図 6-20-1）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『良くなった』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60歳以上の年代で6割以上を占め高い。「わからない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代で4割と高くなっている。（図 6-20-2）

居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）でほぼ6割と高くなっている。（図 6-20-3）

図6-20-2 市の現在の環境—性別・年齢別

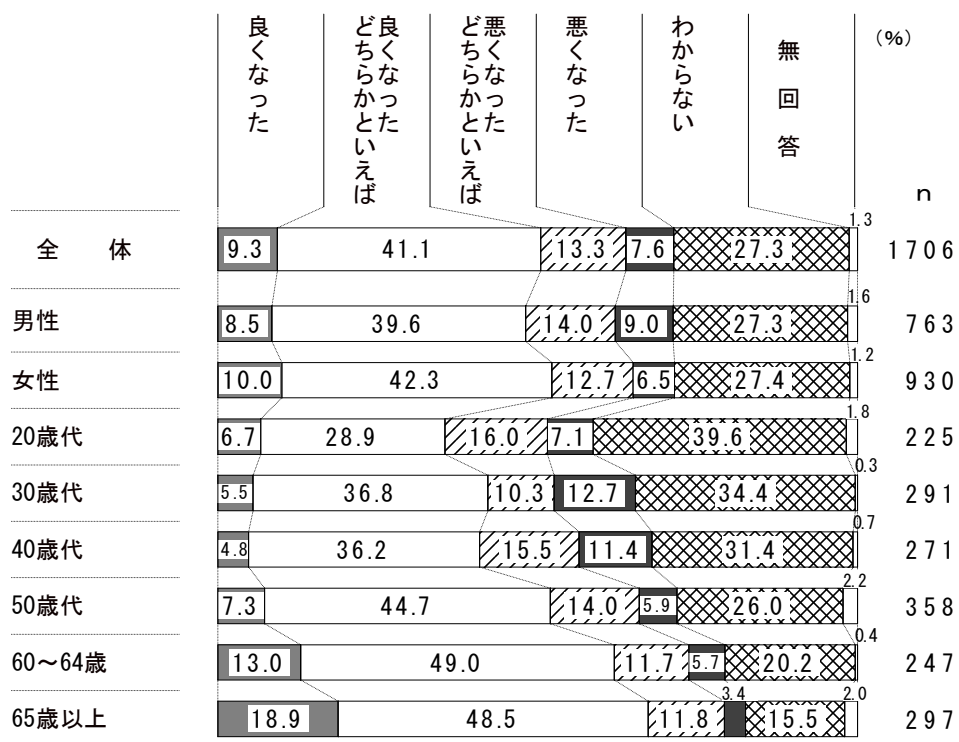
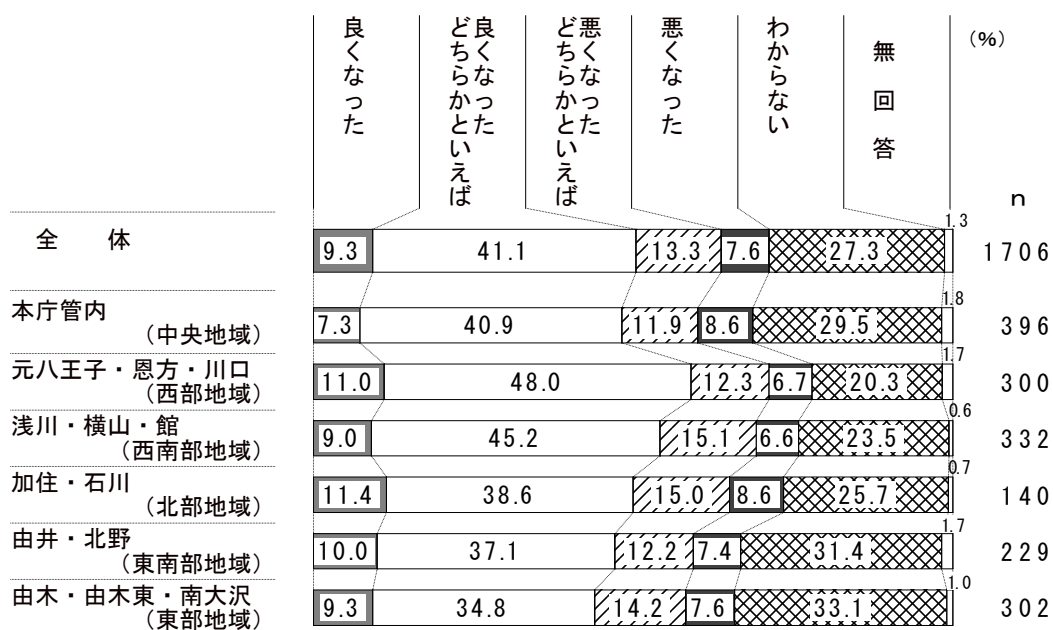


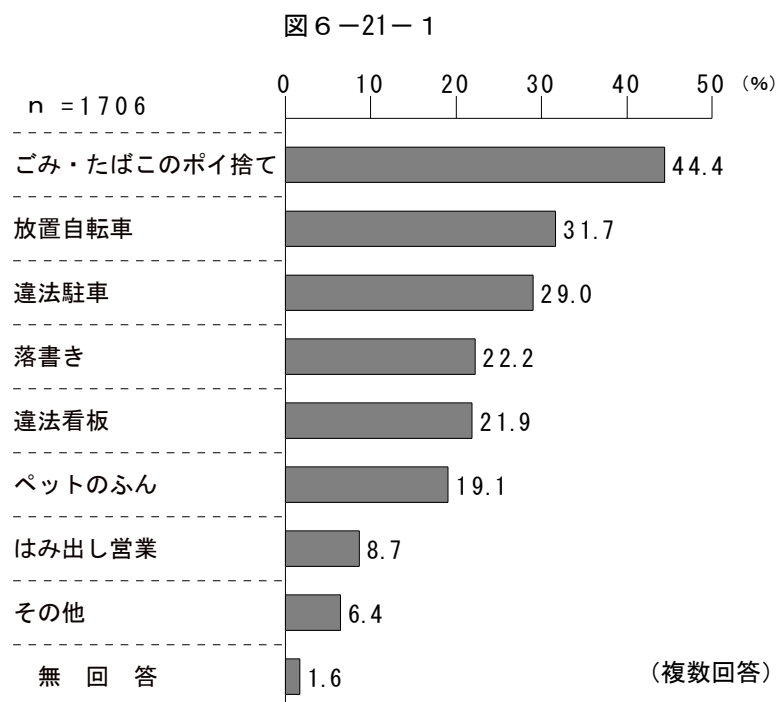
図6-20-3 市の現在の環境—居住地域別



6-21 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が4割半ば

問 38 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(〇は2つまで)

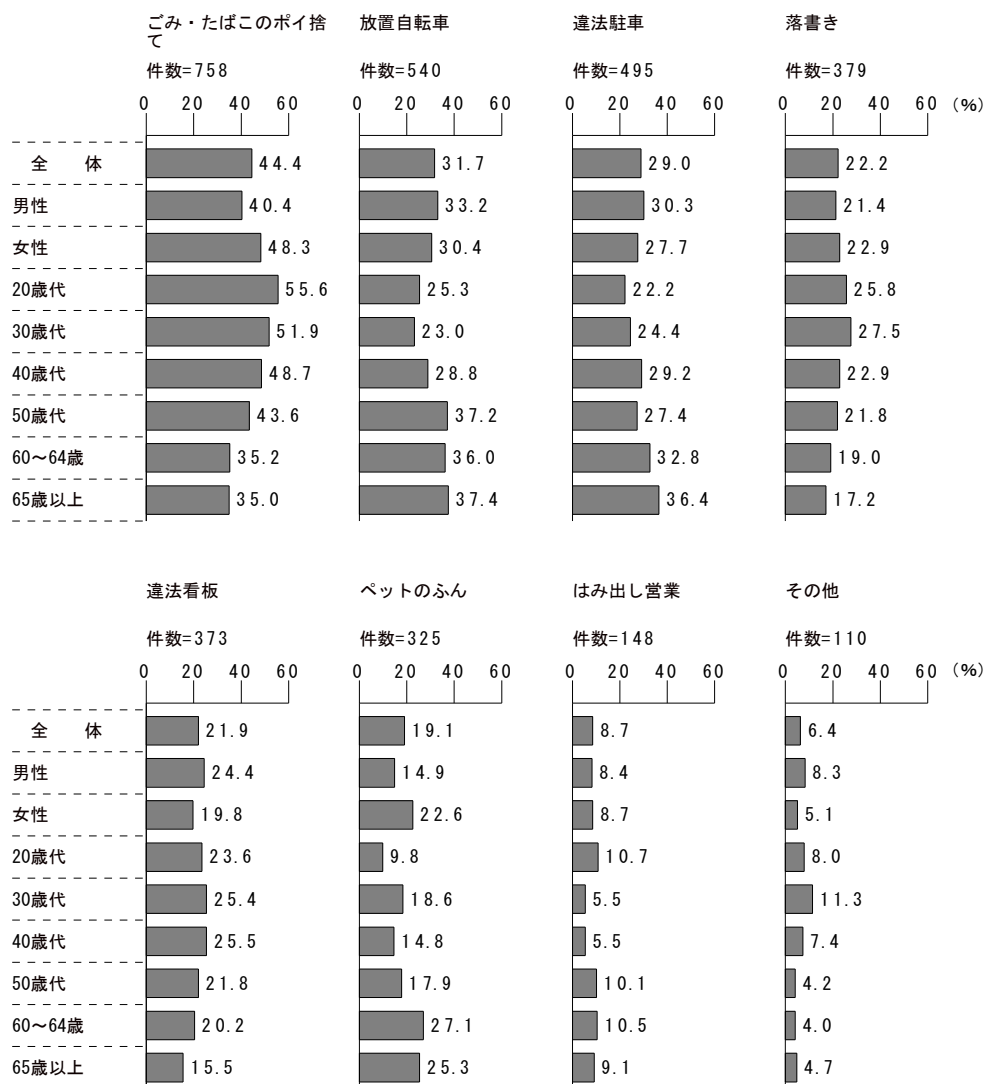


都市の美観が損なわれる原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」(44.4%)が4割半ばと最も高く、次いで「放置自転車」(31.7%)、「違法駐車」(29.0%)、「落書き」(22.2%)、「違法看板」(21.9%)などの順となっている。(図 6-21-1)

性別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」と「ペットのふん」でそれぞれ女性の方が8ポイント高くなっている。

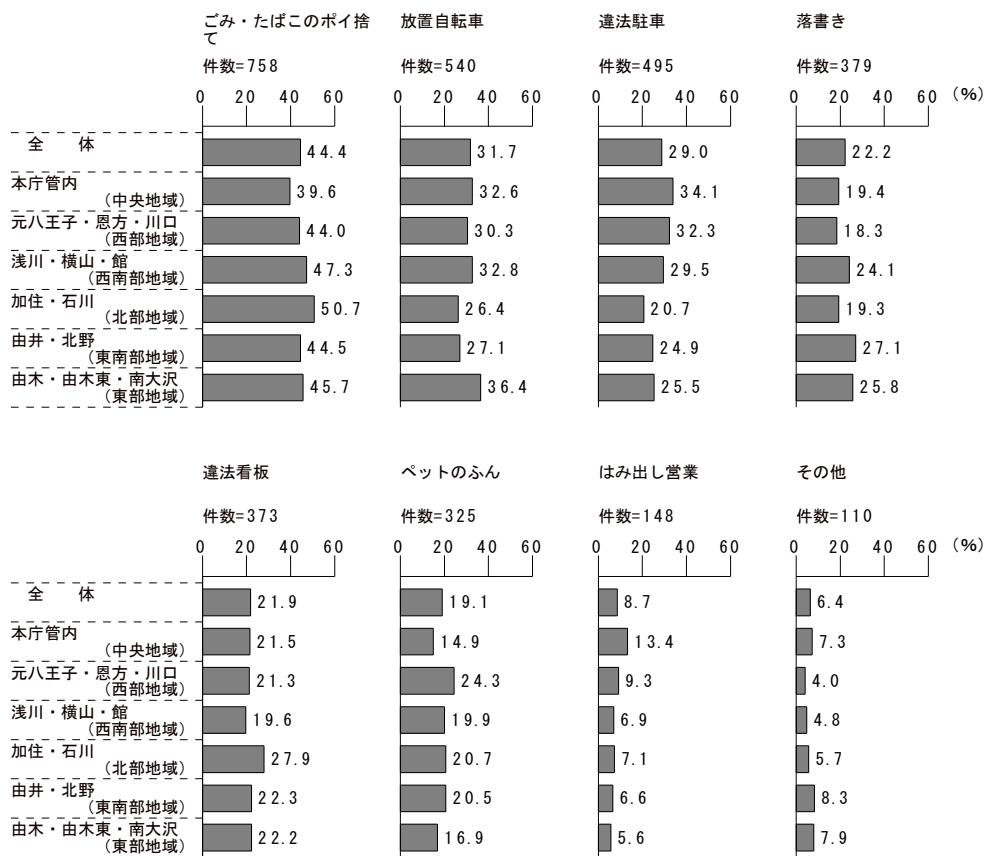
年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代で5割半ばと高く、「違法駐車」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。(図6-21-2)

図6-21-2 都市の美観が損なわれる原因—性別・年齢別



居住地域別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は加住・石川（北部地域）でほぼ5割と高くなっている。「放置自転車」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割半ばとなっている。「違法駐車」は本庁管内（中央地域）で3割半ばを占めて高く、逆に加住・石川（北部地域）ではほぼ2割と低い。（図6-21-3）

図6-21-3 都市の美観が損なわれる原因—居住地域別

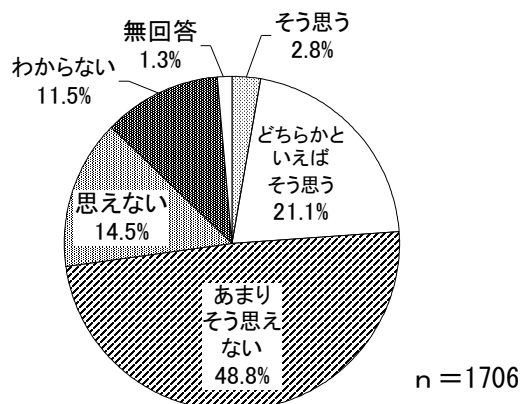


6-22 市は、美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が6割を超える

問 39 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図 6-22-1



市は美観が保持されたまちだと思うかどうかについて聞いたところ、「そう思う」(2.8%)と「どちらかといえばそう思う」(21.1%)を合わせた『そう思う』(23.9%)が2割を超え、「あまりそう思えない」(48.8%)と「思えない」(14.5%)を合わせた『思えない』(63.3%)が6割を超えている。また、「わからない」(11.5%)が1割を超えている。(図6-22-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、すべての年代で『思えない』は5割以上を占めている。(図6-22-2)

居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢(東部地域)で4割近くと高く、『思えない』は本庁管内(中央地域)で7割を超え高くなっている。(図6-22-3)

図6-22-2 市は、美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別

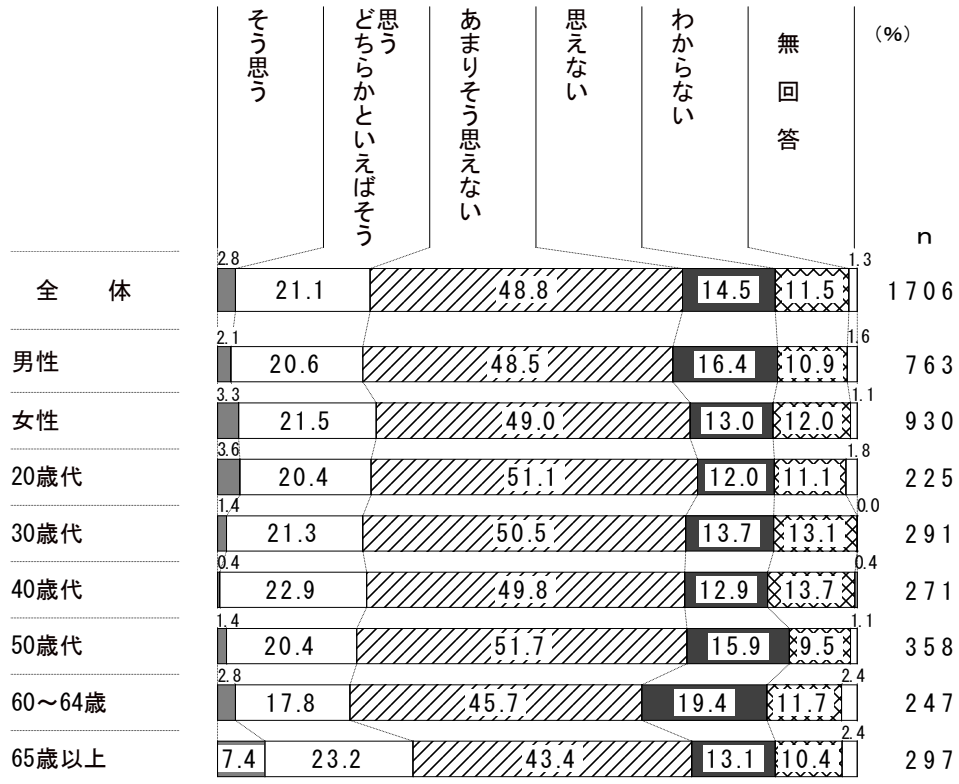
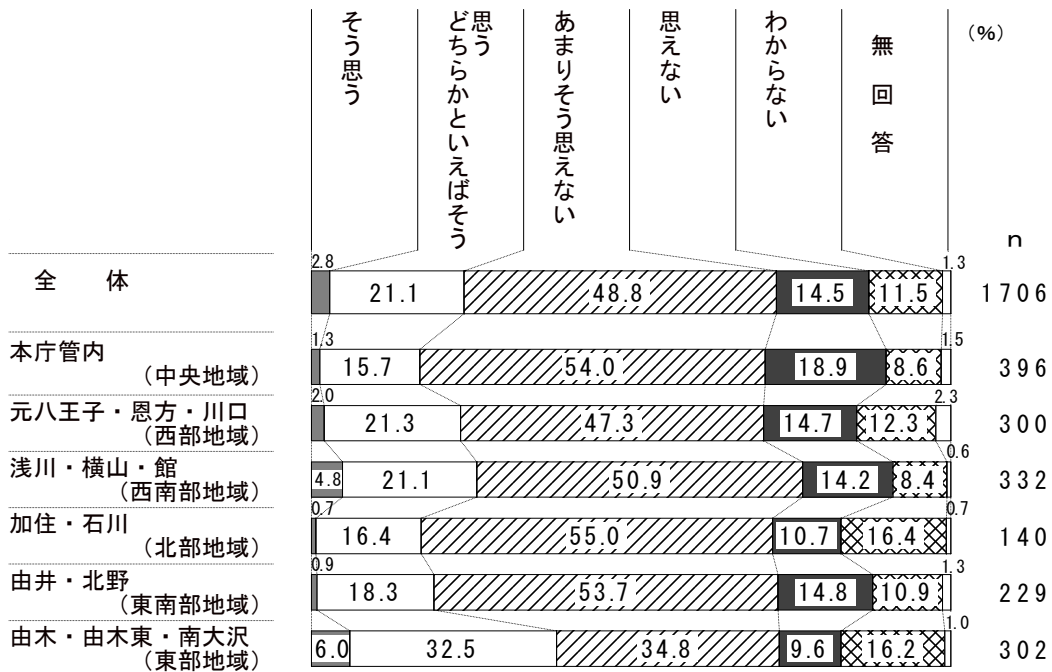


図6-22-3 市は、美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別

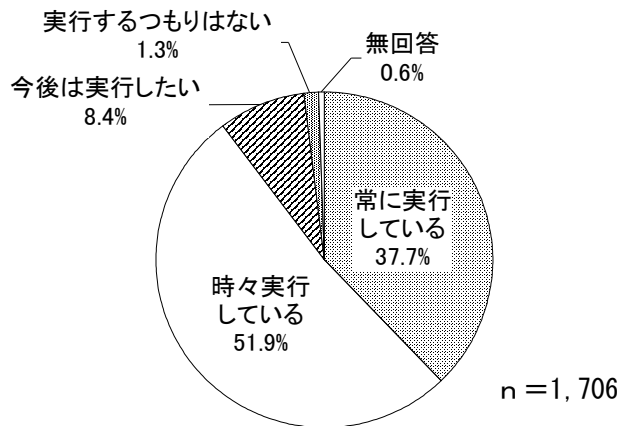


6-23 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割と多数を占める

問 40 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図6-23-1



省エネ・省資源を意識して実行しているかについて聞いたところ、「常に行っている」(37.7%)が4割近く、「時々実行している」(51.9%)が5割を超え、合わせた『実行している』(89.6%)は9割と高い。また、「今後は実行したい」(8.4%)と「実行するつもりはない」(1.3%)が1割未満となっている。(図6-23-1)

性別にみると、「常に行っている」は女性の方が11ポイント高く、「今後は実行したい」は男性の方が6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「常に行っている」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。(図6-23-2)

図6-23-2 省エネ・省資源を実行しているか—性別・年齢別

